大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

昭和十一年一月十四日　新京日日新聞　（火曜日）　第四千六百五十三號　（一）

新京日日新聞

夕刊　一月十三日

本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓　郵税一ヶ月拾五錢
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯部專用三二三五　營業部專用三三〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越內之介

決裂へ急ぐ　軍縮會議

十四日の會議で日本案を再審議

回訓案に從つて最後的說明

列國の態度一つで運命決す

【東京國通】ロンドンに於ける軍縮會議は殆ど決裂に至つたので帝國政府は十二日の閣議で

最後の方針を決定訓電を發したので愈々十四日の軍縮第一委員會では九日の日英私的會談の結果に從つて日本の共通最大限度設定問題が再審議される事となり帝國全權團は本國政府回訓內容に從つて量的制限問題を中心とする相當廣範圍の最後的說明を行ひ日本の軍縮根本主張を各國全權に諒解させる措置に出で、共通最大限設定と不脅威不侵略の鐵則を實施せんため攻擊的兵力の徹底的切下げ即ち主力艦、航空母艦、甲級巡洋艦の全廢若くは縮小に對する根本態度を闡明し且つ世界海軍々縮の實現は日本案を措いて他に求められざる事實を徹底的に說明する筈で之に對して英米佛伊の四ヶ國が如何なる態度に出るかこれこそ會議の運命を最後的に

決定するものであるが、從來の經過に鑑みて日本案の容認は全く絕望である、又日本案否決の場合は同時に會議も事實上終局を遂げる事になることは各國ともよく看取して居ることゝ思はれるので、從つて票決によつて一擊日本案を粉碎せんとする高壓的態度を採るが如き事は恐らくせず、會議をして容虛ながらも圓滑なる終末をつけしめる方針に進むものと觀測される、而してこの場合英米側が採る態度として豫想されるものは

一、日本案を首肯せざる迄も先づ一應これを留保し英國案を中心とする質的問題並に建艦通告案審議を再開せしむるか

一、日本案の量的問題並びに英國案の質的問題を共に留保し五ヶ國間で審議を進行せしめ得る確信のある二、三の問題即ち潛水艦使用制限、商船武裝禁止等の諸問題に就き審議を開始するか

而して第一の場合はわが方としては留保條件の如何に依つてはこれが審議に參加する用意があり第二の場合は纏め得る海軍問題は之を纏める事に善處するとの帝國根本方針に從ひ五ヶ國會議に於る審議に參加する事になつて居る、從つて十四日の第一委員會の雲行き

如何に依つては一時的小康を得るやも知れないが既に根本的問題に關して絕對的對立を見て居る以上十四日の第一委員會が尙二、三日繼續開會される事になつても會議が本軌道に戾る事は到底困難と見られて居る

四國會議へのオヴザーヴァー人選

【東京國通】ロンドン軍縮會議討議に英佛伊の建艦通告案が議基礎議題となり日本が右審議に參加せざる場合に派遣すべきオヴザーヴァーの入選に就ては會議の見透しが判明せざる爲未定であるが政府部內では我方が引揚げる場合永野、永井兩全權を同時に歸還せしめることは事を荒立てる惧あり、且つ松平駐英大使も歸朝の事とて暫く孰れか一人即ち永井全權をロンドンに駐劄させる方が穩當なりとの見解を採るものもある次第である、要するにオヴザーヴァーの人選回訓は十四日以後の會議狀況の推移に應じ海軍側と協議の上外務省より任命する事となつてゐる何れにしても外務、海軍兩方面より選出する事とならう

我圓滿脫退を　英國側盛んに斡旋

【ロンドン十二日發國通】英國政府當局は海軍々縮會議の破局を直前に日本代表の圓滿脫退を期待し日米兩國代表間を熱心に斡旋してゐる、就中クレーギー參事官は十日秘かに米國首席全權デーヴィス氏と會見、日本代表に發言の機會を與へて形勢激化を避け、圓滿に袂別する事を慫慂した他方同參事官は帝國全權團に對しオブザーバー派遣を要請せんとして居り會議決裂の最後的手續きは帝國政府のオブザーバー派遣如何により多少變更を見やう

回訓決定後語る　大角海相

【東京國通】本回訓案は軍縮豫備交渉の際決定された軌道に乘つて作られたので、既定の事實をそのまゝ案文にまとめた迄で政府の方針は確固不動だ、五ヶ國會議が十四日に延期されたのは英國政府が國內會議の都合上より一日延ばすやう希望して來た爲めだ、我方の要請で延したのではない、十四日の五ヶ國會議で我案が通れば會議續行だが今の情勢では仲々うまく行きそうにないが、通らぬからとて十四日で決裂するかまだ解らぬ但しそう長くは續くまい、決裂しても之で一息となりはしない、後始末や今後の對策が殘つてゐる

川島陸相

【東京國通】十二日の臨時閣議散會後川島陸相は軍縮回訓案に關し左の如く語る

本日の臨時閣議では主として外相、海相から今日までの軍縮會議の經過報告を爲した上回訓案を審議決定した、其內容は今日迄傳へられてゐる程度のものだ、回訓案には陸軍關係問題は全然無いので自分からは何も發言しなかつた、陸軍關係の事項は太平洋防備制限問題だけだがこれを存續せしむべきか否かが問題になるにしても大して痛痒を感ぜぬものであるからこちらから働きかけるやうなことは全然考へてゐない

獨露參加說に佛代表部憤慨

四ヶ國會議の成果疑問視

【ロンドン十一日發國通】四ヶ國會議に獨露參加說があるが佛代表部はドイツが參加し難題でも持出せば會議はどんな紛糾に陷るかも知れずそれこそ直接ヨーロッパに關する大問題であるとして新聞の臆說に憤慨してゐるこんな臆說が出たのは英國政府の九日の晩餐會で獨露大使が招待された爲と觀らる、然し四ヶ國會議繼續可能性は漸次濃厚となつて來たが只問題は日本なくして滿足な協定が出來るや否やにあると云はれてゐる

排日學生團の暴行を省政府斷乎取締る

【廣東十二日發國通】排日學生團の教育廳襲擊暴行事件は各方面に強き刺戟を與へてゐるが、陳濟棠氏は十日午前十時省主席林雲　、政整委員長蕭佛成中山大學校長鄒魯氏以下教育關係者を西南執行部に招集し約二時間に亘り臨時緊急會議を開催、暴行學生の處分及び今後の取締に就き協議の結果左の如く決定した

一、各學校當局は責任をもつて暴行學生を處罰すること

一、速かに學生運動指導委員會を組織すること

一、政府は秩序維持の見地より今後の不穩行動に對し斷乎たる措置を執ること

一、今後運動の取締りは公安局長及び憲兵司令に一任す

一、當分各學校に保安隊員を派遣し學生を監視せしむ

尙ほ中山大學校長鄒　氏は今回の事件に對する責任より南京教育部及び西南政務會宛自己の處分を要請したが、右は單に學生排日指導者であつた鄒魯氏が今度の取締りに對する面當てといはれてゐる

各大學教授續々南京へ

【北平十二日發國通】來る十五日南京に行はれる蔣介石の全國學校並に學生代表との會見の期迫り在平各大學の代表は續々南下しつゝあり十日には清華大學校長梅貽琦氏、北平大學部長胡適氏並に政治學教授張忠　氏、北平大學校教授王氣緒氏等が離平したが、十二日は燕京大學教授劉廷芳氏、師範大學教授袁敦禮氏が午後三時半津浦線で出發した、一方學生代表は何れの大學共學生聯合會の決議の下に結束して一人の代表も送らず一糸亂れざる統制振りを示してゐる

張學良氏太原發綏德へ

【北平十一日發國通】張學良氏は九日飛行機で太原に至り閻錫山氏と會見、九、十兩日に亘り陝西剿匪に關し種々協議を行つたが十一日飛行機で太原を出發綏德方面を視察の後西安に歸る豫定である

滿洲國日系官吏エキスパートに聽く（八）

通貨の一元化と金融の地方滲浸

職員の訓練の徹底を

滿洲中央銀行文書課長　清水孫秉

滿洲國通貨統制に關する中央銀行券の滿洲國外撤退は既に昨年末から實施され着々と成果を擧げつゝあるが最近在滿日本人が通貨統制の國策を理解し滿洲國內は勿論附屬地においても努めて國幣を使用して來たことは誠に喜ばしい、國幣の使用が滿洲國の通貨政策を確立するための國策に順應することを日滿人が意識し多少の不便を忍んでもこれが使用を實施してゐることは感謝に堪えない、建國後短日月のうちに金融、幣制問題が極めて圓滑に整備改善され又二百億に近い舊紙幣の回收が僅か二年間で實現された事は在滿邦人の協力によるところ多大であるといふべきであるが、これと同じ意味で國幣の一元化といふ大事業の完成は日本人の力に待たねばならない、既に關東軍、滿鐵、關東局等在滿各日本機關並に朝鮮銀行では國幣の使用を實施し國幣一元化の實現に協力してゐるから今年は相當な成果が期待されてゐる、本行でも出來るだけ在滿邦人に不便をかけないやうに努めて居り、昨年は全國百四十の支行、辦事處の主なるところに日系駐在員を派遣し日本側の期待に沿ふやうにしてゐるが、今年も更にこれが萬全を期してゐる譯である

▽……△

滿洲國の金融機關は今日迄に一應整備されたが、地方においては未だ不充分にして而も水災その他の事情のため一般的には金融の恩澤に浴してゐないところが多いので今後は金融の地方への滲浸を期し産業の發展に貢獻する積りである、現存の地方金融機關に對しては指導的立場から出來るだけ助長發達せしむる方針をとつてゐるが殊に下級金融機關の整備擴充と普通銀行の發達を助成し中央銀行をして可急的速に普通銀行業務を止め中央銀行として、發券銀行としての本來の業務に邁進したいと思つてゐる、從來農民金融としては應急的處置として春耕貸款を實施してゐるが、これによる實績は餘り期待出來なかつたから今後は隣人相寄り相扶ける主旨の下に組合制度の發達を促進することゝなつてゐる、金融合作社はその一例であるが本行としては金融合作社中央聯合會を通じこれが助長政策を採つてゐる又庶民金融機關として長い歷史と相當な成績を擧げつゝある、當舖（質屋）は全國で現在數千といふ多きに達してゐるがこれの助長發展策も充分考慮してゐる、普通銀行も漸次發達しつゝあり近く營口に商業銀行、奉天に商工銀行が設置されることゝなつてゐるが漸次增加するものと確信してゐる

▽……△

國幣の對外價値の安定に關しては昨年國幣を日本の金圓と一緒にして以來大いに安定化されもう心配する必要はなくなつたので物價の安定は期して待つべきである、然し乍ら通貨の統制、地方金融機關の整備擴充等今後に殘された問題は極めて多く中央銀行としても現在約二千數百人の職員の訓練を强化してゐるが日本人職員の滿語、滿人職員の日本語研究に努力し今年は專門家を態々招聘して職務上日滿人の區別はないといふ域にまで達したいと思ふ、これによつて一般に與へる便宜上の進步は大いに期待して戴きたい

今年の問題

ベルギー大使賜暇歸朝

【東京國通】駐日外交團主席ベルギー大使バツソンピエール氏は約六ヶ月の賜暇を得て二月七日神戶出帆の靖國丸で歸國する事となつたので、來る十六日午前十時宮中に參內天皇陛下に謁見、お暇乞ひを爲す筈である

外蒙訪ソ使節本國へ歸還

【モスクワ十一日發國通】蒙古共和國首相ゲンドーン、陸相デミツド氏以下の訪ソ使節一行は十一日モスクワ發ウランバートル、ホトに向け歸還の途についた、一行は昨年末來モスクワに滯在、共産黨書記長スターリン陸海軍人民委員長ヴオロシーロフ元帥以下ソ聯首腦部と數次に亘り會見を遂げ最近の北支並に滿洲國方面に於ける情報を中心に意見を交換しソ蒙協定に關し具體的協議を行つたと解される

滿鐵の運賃改正　朝鮮側重大視

阻止運動を開始

【京城國通】滿鐵では近く滿洲國內運賃を鐵路總局同樣現在の三等級を六級制に改訂、其の結果砂糖の如き一噸につき安奉間一圓八十五錢の引上げを見、鮮魚、織絹物等相當高率となるため鮮內關係方面では之を頗る重大視し朝鮮貿易協會でも之が對策を考究中であるが愈々近く關係方面と協力して何等かの阻止運動を開始、鮮內當業者の利益擁護に乘出すことになつた

木原中將來京

滿鐵顧問木原中將は十二日午後五時三十分來京名古屋ホテルに入つた

朝鮮總督府の田中外事課長再び來滿

【京城國通】昭和十一年以降總督府に於て實施の對滿移民計畫は愈々鮮滿拓殖會社設立に伴ふ豫算三十六萬圓（初年度九ヶ月分）も大藏省議で決定を見て確實に實現の運びとなつたので田中外事課長は再び來る十四五日頃渡滿の上關東軍滿洲國政府其他關係當局に對して諒解を求め援助を懇請する事になつた、尙田中課長は滿洲より歸任後引續き再度東上して對議會工作に今井田總監を輔けることとなつた

人事往來

▲孫徵氏（電々會社副總裁）十二日午後大連へ
▲于芷山上將（軍政部大臣）同歸京
▲小泉奉天司法領事　同
▲筑紫熊七氏（參議）同
▲木原豫備中將（滿鐵東京支社囑託）同來京
▲濱田中將（駐滿海軍部司令官）同歸京
▲若井三子雄氏（會社員）同
▲藤井延三呂氏（渡邊合名會社員）同
▲伴榮吉氏（陶器商）同
▲杉浦眞作氏（石材商）同
▲杉原信助氏（鐵路局員）同
▲山本健二氏（航空兵中佐）同
▲矢野傳氏（雜貨商）十二日午後奉天へ
▲大內成美氏（辯護士）同午前來京國都ホテル
▲田中重二氏（東亞土木）同
▲近藤勘助氏（鐵路總局）同午後同
▲鷲山彝直氏（滿洲製糖社員）同
▲栗田秀治郎氏（關東州廳官吏）同
▲前田ハルビン警務廳長十三日午前來京滿蒙旅館
▲橘覺之助氏（大連金融組合理事）十二日午前同
▲加藤中佐　同
▲鉢路源三郎氏（滿鐵監理課）十三日午前來京大和ホテル
▲田所耕助氏（滿鐵東京支社長）同
▲神守源一郎氏（滿鐵地方部庶務課長）十四日午前八時五十分來京の豫定

その日〳〵

□軍縮會議、一路決裂へ、『軍備とは何ぞや』の出發點からして違つてゐるから……

□滿鐵の運賃改正に朝鮮側不滿、魚類の運賃があがることゝなればこちらも默つて居れぬか

□萩原一家の離婚訴訟公判、傍聽席も滿員、果して何を語るか

□ちとしつこい樣だが新橫綱武藏山また破る、こうなれば相撲協會に責任を問ひたい

□あす今年の運試し、彩票抽籤あれをあゝしてなど捕らぬ皮算用をせぬこと

姉妹の魅力　14　淺草

柳咲子作

お榮は、いつの間にか、淺草を根城にしてゐる不良や與太者の仲間へ近づいて行つたのです。いかにも、淺草を呼吸して育つた小娘らしい智慧で！

『唄はせてよう！十錢でいゝから……五錢いゝから……』

と、三味線なしのお榮が店へ入つて行つたりすると、女給達は、顰をひそめて橫を向くやうになつてしまつた。

さうなつた頃。彼女には、頭を下げて行く怪しげな男が殖えて行つたのです。そして、さういふ彼女であつたから、其の時分、一緒に稼業に出てゐた勝子が、時とすると邪魔になるやうな場合もありました。

さうした場合には、お榮は、生れた時から持つて來た耳の後ろの小豆大のほくろを搔く癖があつた。

そして、其のほくろを搔くことによつて、勝子の居なくなるやうに數へ込んだので、勝子も、いつのまにかそれを呑み込んで消へてなくなる——さう云ふ習慣が付いて、何かにつけてお榮は、耳のつけ根のほくろを、都合のわるい時の道具につかふやうになつた。

其のことは、末の妹である百合子も知つてゐた。母の前に、何か都合のわるい時は、そのほくろを搔いて……或は、偶に雨降りの時など、買つて來た活動小屋の切符があつたりすると、百合子を一緒に連れて行つて、活動小屋で、仲間の不良達に會つた時、百合子がゐては都合がわるいので、そこで勝子同樣に、自分がほくろを搔いたときは、直に居なくなるやうにと數へ込んで置いたので……

さういふ譯で、飛行機の上の勝子が、ばちで、耳のつけ根を搔いたことによつて、百合子は、直に、お榮のことを想像したのです。

一何度か、警察に拘留されたことのあるお榮は、三味線を持つて、淺草へ立入ることを絕對に禁じられたのが、十八の時。——

最も、この時分のお榮は、三味線を持つ持たぬに拘はらず、淺草のカフエーや酒場ではモウ稼業にならなくなつてゐました。それが却つて、彼女の惡癖を野放しにしたやうなことになる。

彼女は、却つて身輕になつたと思ふだけで、其の後、母親の家から逃れ、そして、門附娘から足を洗つてしまつたのです。モウ、この時の彼女は、三味線よりも男のはうが、はるかに扱ひ易いものだといふことを知つてしまつたのです。

だから、喫茶店『幸養』の二階に、白刄を弄ぶ男達と一緒にゐたところで、別に、驚くことはなかつたのですが、だが、彼女が、家出してからモウ三年ほどになつた

彼女は××活動館にゐた須田といふ說明者と夫婦になつて、淺草の不良や與太者たちを驚かしたのですが、勿論、須田は其のために淺草の小屋には危險であることが出來なくなつたのです。

いふまでもなく、お榮の仲間の不良から、どんな眼にあはされるか判らないので……そして、每夜淺草を稼ぎ場として流してゐる勝子も、何時か、お榮の姿を見なくなつてしまつた。

レヴユー小屋の百合子へ、或日大きな花輪が持込まれました。贈り主の判らないのも百合子は、姉のお榮の心づくしにちがひないと嬉しい思ひをしてゐたのであつた。

×　×

喫茶店『幸養』の二階には、一組の客もなかつた。

勝子が、顏見知りの、ふたりの女給は、蓄音機の、レコードをかけて、いつしよに唄つてゐました。

各學校に魁け 公學校入學試驗
收容數は殖え出願者減る あす及落を決定

各學校にさきがけて新京公學校の本年度入學試驗は十三日午前九時から同校に於て行はれた、父兄にともなはれ緊張の氣を眉宇に漲らせてつめかけた、小さな受驗者四百七十名、それに對する收容數は本校百十名時に本年より設けられた城內依託生が百名でその競爭率はざつと四六%であるが昨年の五百三十名に對する百二十名に比較すればうんと緩和された譯である、なほ今日の試驗結果は十四日の職員審査會にかけられ午後になればその及落が決定される筈である

各學校一齊に 戶外週間行事
けふから實施さる

新京地方事務所主催の戶外週間はいよ／＼けふ十三日から一齊に實施されたが、週間中の行事としては十三日午前十時から保健所長羽生秀吉氏が「戶外週間の意義について」と題し、マイクを通じ講演を行つたが、各中等學校、各初等學校並に白菊會その他でも一齊に戶外の催しを行ひ氣勢をあげた、なほ週間中一般行事としては十五日午前七時西公園誠忠碑前で室外ラヂオ體操、十八日午後一時から西公園リンクでスケート大會、十九日午前十時から同じく誠忠碑前で寶探しがあるほか一般奬勵事項としては每日朝夕十分間以上室內開放、また南嶺寬城子戰蹟訪問などを適切なものとし奬勵することゝなつた、前記各學校その他でも耐寒行軍、スケート大會、衛生講話などそれ／＼催されるはず

スリ二件

舊年末を控へて爲替取組その他通信受附けで人々の雜踏を極めてゐる新京中央郵便局寄溜で、けさスリ事件が二つ鐵道北面高製材所店員西尾某が午前十時五十分ごろ赤色二ッ折財布（現金五十三圓餘在中）を何者かにすられた、また軍用路橋詰八卷忠藏（三三）氏は十一時ごろ金錢拂戻し中を同拂戻窓口で金一圓三十錢と書類二、三通をすられた

駐滿海軍部の新年宴會

駐滿海軍部では恒例に依り昨日午後一時樓上に於いて新年宴會を催した、司令官は赴通中の爲大島參謀長代理にて開會挨拶の辭あつて、君が代合唱大島參謀長の挨拶、勅諭五ヶ條の歌及海軍マーチの演奏あり最後に 天皇陛下萬歲を三唱、式終了後宴會、參集の現役並豫備の將士約五十余名、盛會裡に七時散會する直ちに高野山に行はれた戰歿將士の通夜に赴き英靈を慰めた

元需品局員 詐欺

三重縣生れ元滿洲國需品局員平山忠夫（二八）は九日午後十時ごろ祝町二丁目貴金屬商寶石堂こと德永健次郎氏方を訪れ十八金丸型女持懷中時計一個、同角長型腕時計一個時價八十圓を買ひ『自分は需品局の平山だが金は後から持參する』と稱して同店を立ち出たが數時間を經過するも右金額を持參しないので不審を抱き直に需品局に問ひ質すと平山は同局から既に馘首されてゐることが判つたので詐欺犯人として新京署に屆け出た

萩原氏夫妻のけふ第四回公判
午前は證人訊問

地方事務所經理係長萩原準同妻りん兩氏にかゝる離婚訴訟の第四回公判は十三日午前十時四十分から總領事館裁判所で花輪裁判長係で開廷された、この日傍聽者は定刻前法廷に押し寄せその大半は婦人で埋められた、十時四十分裁判長は開廷を宣し被告申請の證人大內喜光氏の訊問に入つた、證人は裁判長の問に對し被告に有利な證言をなした、終つて原告申請同家女中進藤ミヨの訊問に入る

裁 主人が夫人を二階で虐待したか

證 知つています

裁 その時主人は夫人に死ねと言つたか

證 知りません

裁 夫人は普通の家庭の奥樣と異つていたか

證 異つていました。性質が荒い樣に思いました、又奥樣は家を外にし毎日の樣にダンスホールに出入していました

裁 主人に對する奥樣の言葉は

證 普通の人よりか性質が荒い樣でした、特に氣分の惡いときの言葉は聞いてをられない樣な氣がしました

裁 奥樣と靑山とか寢そべつていたのを知つているか

證 知つています九月三日でした

裁 寢た方法は如何

證 二人が二、三尺ほど離れて奥樣は仰うけでした、靑山は橫になつていました

裁 靑山は何時ごろ歸つたか

證 午後四時奥樣が見送つて二人で行きました、歸つて來たのは夕方でした

裁 靑山と奥樣の仲はどう感じられたか

證 非常に睦じくしていました、何か關係がある樣に思はれました

裁 奥樣は二階に寢て主人は下に寢ていた樣だがそれは龍子が來てからか

證 龍子さんが來たからではありません

裁 主人と龍子とが變な樣に世間で言つてゐたがどうか

證 奥樣がお客樣にお話するのでした

裁 主人と龍子とが下一室に寢たか

證 奥樣がヒステリーを起した時一、二度寢ましたのです、それも龍子さんが恐しがつてからです

裁 昨年十月九日から奥樣が滿鐵病院に入院したが入院するほど重態であつたか

證 私から見ると重病とは思はれませんでした、お食事も澤山召上つていました

裁 證人も奥樣から叱られたことがあるか

證 私が病氣で寢ているとき何で寢ているかと言ひながらたゝき起し私を玄關に追出しました

裁 一度か

證 もう一度は私が茶お碗を割つた時ひどく叱られました

右訊問を終つて下田檢事事務取扱の補充訊問に入り終つて裁判長は休憩を宣し午後續行となつた

街の日記

瀧三七子孃 伯林へ安着

ドイツ、ガルミッシュ、パルテンキルヘンで開催の萬國オリムピック冬季大會に出場する日本代表スケート選手一行は無事長途の旅をつゞけ十二日には獨逸伯林に安着した旨一行中の瀧三七子孃から電報を寄せたのが同夜十一時半頃本社に到着した

愛媛縣人會

愛媛縣人會では來る十七日午後五時から三笠町三丁目曾我廼家ビラで新年宴會を催ふす、希望者は縣人會事務所まで申込まれたい（三笠町松田洋服店）

淨土宗長春寺の 別時念佛會

市內曙町淨土宗長春寺では今春から左の通り毎月別時念佛會修行し佛恩に報ずることゝなつた明十四日は初回で午後七時から、十五日は午後一時からである、因に毎月の分は

十四日夜七時より（善導大師御忌日）

十五日午後一時より（阿彌陀如來御緣日）

二十四日夜七時より（地藏菩薩御緣日）

二十五日午後一時より（宗祖大師御忌日）

特別市行政科の 實業懇談會

新京特別市行政科では十五日午後三時から豐樂路中央飯店で恒例の實業懇談會を開催する

本多青年學校長 內地見學

本多青年學校長は內地における青年學校教育視察のため來る十六日午前九時發ひかりで出發、釜山經由東京にいたり東京、横濱、名古屋、京都、大阪、神戶、熊本の順で來月四日歸京の予定である

寄附 東三條通三六福山看護婦會岩坂マツエさんは十二日新京署貧民救濟會へ金五圓を寄附した

あす（十四日）

△商業學校寒稽古始め

△第二十二回國民獎券抽籤

今晩の主なる放送番組

▲七・〇〇琵琶船辨慶藤旭凰

▲七・三〇管絃樂「近代現代の音樂第一回」（東京）新交響樂團

▲八・〇〇長唄「幻浦島」（東京）唄杵屋勝五郎外

柔劍道の寒稽古 一般參加歡迎

新京體育聯盟並に滿鐵運動會支部では來る十六日から商業學校道場で寒稽古を始めることになつた、敎師は柔道藤原、劍道佐藤の兩氏、每日午後五時三十分から一時間で一般の參加も歡迎する

村上軍醫以下 戰歿の將士凱旋

酷寒の北滿に匪賊討伐中不幸名譽の戰死を遂げた二等軍醫村上敬治氏以下二十六名の勇士の遺骨はハルビン衛戍病院平野軍醫に護られ十二日午後三時四十分新京着列車にて凱旋した（寫眞は新京着勇士の遺骨）

正月早々の福運 さて誰の手に
あすは彩票の抽籤

あす十四日は今年になつて初めての彩票抽籤日で例の通り午前十時から新京特別市商會內で財政部吏員警察官等立會の上に廻轉式抽籤器を運轉して福運の球を轉がし出すのであるが、今度はどういふぐあいに福運が向くか、前回第二十一回には頭彩が新京に二本奉天へ一本、二彩はハルビンへ二本、鞍山へ一本、三彩は奉天へ二本、吉林へ一本といふ分布であつた

フ井ギアは堂々 新京が第一位
惜しや大川スピード選手 けふ奉天から凱旋

十二日奉天國際リンクで開催された全滿氷上競技選手權大會に出場した新京側谷戸選手はフ井ギアで堂々第一位を占め新京側選手のため萬丈の氣を吐いたが、これは過去の閲歷と平素の努力によるものであらう、またスピードの大川選手は第七位林選手は第八位で大川選手は僅かに一位の差で日本選手權大會の出場權を得るに至らなかつたのは惜しい選手一行は新京體育聯盟その他多數スポーツ關係者の出迎を受け十三日午前七時三十分着凱旋した

經過

【奉天國通】全滿選手權大會兼日本選手權大會滿洲豫選たる氷上ホッケー試合は滿洲醫大リンクに於て午前九時より開始された、參加チームは大連滿鐵、工事、大連一中、全撫順、鐵路總局、奉天中學の六チームで各チーム共接戰を演じ午後六時半終つた

不戰一勝大連一中、工事

△第一回戰

全撫順 六―五 奉中

滿鐵 六―二 總局

△第二回戰

全撫順 八―二 大連一中

大連滿鐵 一二―三 工事

尙全撫順對大連滿鐵の決勝戰は十二日午前九時より醫大リンクに於て行はれるが右の優勝チームは滿洲代表として日本選手權大會に出場する

第二日は十二日午前九時から開始されたが午前十時現在の風速は七メートル、氣溫零下十一度で相變らずの惡コンデイションだが各選手の力鬪物すごく競技は息づまる緊張の裡に進められた、午前十時までの成績左の如し

△女子千メートル 一、江島（二分一秒四）二今村三、木下四、一鼓五、村山六、岩田

△男子千五百メートル 一、安達（二分四〇秒八）二、木谷三、朴四、木下五、三代六大川

【奉天國通】奉天國際リンクに於ける全滿氷上選手權大會兼全日本氷上選手權滿洲豫選大會第二日午後は引續き惡天候の中に續行され四時過ぎ意義ある大會の幕を閉じたが結局本大會に於て男子スピードでは奉天の安達和男君、女子スピードでは奉天の今村トシ子孃、男子三、〇〇〇米リレーは撫順チーム、女子一、〇〇〇米リレーは奉天チーム、フイギュア男子は新京の谷戸熙君、女子は大連の矢野美知子孃がそれぞれ第一位となり晴の全滿選手權を獲得した、順位左の如し

△スピード

男子

1 安達 昭男（奉天）[illegible]

2 木谷 清（安東）[illegible]

3 朴 潤哲（撫順）[illegible]

4 松元 茂（同）[illegible]

5 橋本 恒（奉天）[illegible]

6 三代 正勝（撫順）[illegible]

女子

1 今村トシ子（奉天）[illegible]

2 江島八重子（同）[illegible]

3 村山菊子（奉天）[illegible]

4 村山節子（同）[illegible]

5 木下ミツエ（安東）[illegible]

6 古谷睦子（大連）[illegible]

△フイギュア

男子

1 谷戸 熙（新京）

2 田中 金八（大連）

女子 矢野美知子（大連）

△男子三、〇〇〇米リレー

1 撫順チーム 五分三七秒四

2 奉天チーム 五分三七秒六

△女子一、〇〇〇米リレー

奉天チーム 三分二〇秒八

東京春場所 三日目勝負

【東京國通】春場所大相撲三日目の重なる勝負左の如し

勝		負
陸奥錦	出し投げ	照錦
谷の音	切り返し	磐城
大浪	うつちやり	加古川
星甲	寄切り	大刀若
中入後		
射水川	押出し	五ッ島
天城山	寄切り	錦華山
九州山	突出し	綾錦
大八州	寄切り	伊達ノ花
防長山	うつちやり	桂川
富ノ山	押出し	楯甲
大邱山	上手投げ	三熊山
和歌島	寄切り	玉の海
筑波嶺	寄切り	綾川
（綾川のうつちやりに物言ひつき取直し）		
駒ノ里	押切り	海光山
新海	寄倒し	幡瀬川
出羽湊	突放し	金湊
瓊ノ浦	寄り倒し	土洲山
笠置山	寄倒し	松前山
旭川	かけもたれ	高登
綾昇	寄倒し	磐石
鏡岩	はたき込み	番神山
双葉山	うつちやり	清水川
（滿場の聲援を受けて立上つた兩力士寄合ふこと數合突差に右合四ッ清水寄切らんとするを左上手からの强引のうつちやり見事にきまり清水の巨體は土俵外に飛んだ）		
男女川	寄倒し	出羽ノ花
巴潟	ひねり	武藏山
玉錦	うつちやり	大潮

天氣と氣溫

明日の天氣 西の風晴一時曇

日の出 午前七時十二分

日の入 午後四時二十四分

月の出 午後十時十四分

月の入 午前九時二十六分

けふの氣溫 最高零下十度五 最低零下廿二度六

他人の褌で相撲？
映畫の舞臺化 戯曲の映畫化

舞臺脚本の映畫化、映畫脚本の舞臺化はその方が夫々の創作脚本より遙かに興行的とあつてか依然として下火にならず流行を極めてゐる、川口松太郎が入江たか子の爲めに書卸した映畫脚本「明治一代女」が明治座の新派で上演されて居り、又數回舞臺化された中里介山氏の「大菩薩峠」は目下日活系各館で大入り滿員とある、三上於菟吉原作「雪之丞變化」が松竹京都で映畫化するとトタンに靑年歌舞伎で舞臺に上せた、まだこの他にP、C、Lの「女軍突擊隊」新興キネマの「己ケ罪」「太閤記」續篇「大尉の娘」「僞だらけのお秋」「武器なき人々」等があり又方面の變つたのでは岸田國士作の「人生劇場」が新協劇團で上演される一方日活內田吐夢監督が映畫化し、映畫の方も舞臺の方も共に他人の褌で相撲をとらうと言ふ戰法だがこれが儲かるとあればやむを得まい

シリーズもの擡頭

初春から陽春へかけて邦畫各社では又盛んにシリーズものを製作する各社を一瞥すると

△蒲田　五所平之助監督が飯塚敏子主演で奥樣シリーズ第一篇として「奥樣借用書」を製作中

△大都　吉村操監督が忠臣藏シリーズとして第一篇「赤穗一番槍」を松山宗三郎主演で製作完了、第二話「血煙り高田の馬場」を次回に着手する

△日活　瀧口新太郎、花柳小菊のあこがれコンビの「戀女房」に次ぐシリーズものを準備中

△新興　勝浦仙太郎監督は大學物シリーズとして陶山密原作の「大學の獅子」を河津淸三郎、由利健次で製作

△下加茂　「暴れ坊」シリーズ物として新進スター大內弘、多木京三、淸水英朗主演、笠井照二監督で「すばしり傳次」を製作開始した

チャップリン映畫の僞作問題起る

沈默の喜劇王チャーリイ・チャップリンの新作「流線型時代」（モダンタイムス）が封切られんとしつつある折柄往年チャップリンがジャッキー・クーガンと主演してファンの淚を絞つた名作「キッド」の僞作問題が遂に訴訟沙汰となり目下紛擾を續けてゐる事の起りは芝區新櫻田町二番地岩松洋行土肥武雄氏が最近同畫を「キッド淚の孤兒」の題名により日本語版に作製し內務省の檢閲を受けアサヒ映畫社の名義で賃貸及び賣却をなしつつあるに對し日本ユナイテッド・アーチスツ社はチャーリイ・チャップリン・フイルム・コーポレーションの日本に於ける代表として著作權保護の爲め同畫を僞作と見做し民事刑事の訴訟を行ふと同時に全國映畫常設館に對し警告を發するに至つたものが依然人氣者のチャップリン作品だけに影響するところ大なるものと見られてゐる

新京銀座　甘栗太郎　電二一八八七

入江、岡の第二回作「今年竹」と決る

入江たか子、岡讓二の初顏合せ映畫として日活では阿部豐監督の下に全發聲、中野實作「白衣の佳人」を製作したが更に陽春の同コンビ第二回作品が左の如く決定した、これはかつて松竹が無聲で映畫化し好評を博した里見弴作「今年竹」を全發聲化しやうと言ふので岡は劇中の主人公を勤めるが入江は「明治一代女」お梅と同じく藝妓に扮し濃厚な所を見せる事になつてゐる

蒲田の新進 東山光子 「感情山脈」で一躍拔擢

松竹少女歌劇から一躍松竹大船の第一線スターへ轉じた東山光子は愈々淸水宏監督の全發聲「感情山脈」で佐分利信、桑野通子、三宅邦子等に伍して秋本菊代の役で堂々出演することに決定、ここに幸先よきスタートを切ることになつた、尙淸水監督が久し振りに着手する若旦那物全發聲「若旦那百萬石」でも大役で出演が決してゐる

夏川靜江再びPCLへ

東寶の夏川靜江はPCLで「放浪記」を製作以來暫らく映畫出演を見合せてゐたが舊多再びPCLと契約成つて本年匆々同社で三本の主演映畫を撮影することになつた

「森尾重四郎」後篇着手

阪妻新春映畫砂繪縛呪「森尾重四郎」前篇は正月第一週封切されて嘖々たる好評に後篇の製作發表を待たれてゐたが愈々新春休み明け匆々映畫着手スタッフは前篇同樣原作土師淸二脚色竹井諒監督犬塚稔に撮影片岡淸と決定、配役も前篇と同樣であるが、特に京都撮影所より荒木忍が特別出演してその老巧な處を示すはずである

ベイカーの「タムタム姫」

佛アリス作品、前作「はだかの女王」に先立つて封切られた譯であるがジョセフィン・ベイカーの第二回主演映畫で前作と同じくペピト・アバチノのオリヂナルものにより、フロイド・デュポンが振りつけに當つた、相手役には「巴里の屋根の下」「商船テナシチー」等のアルベール・プレヂャンが選ばれてゐる、小說家がネタを探しにアフリカに渡りそこで一人の野性の娘を見つけた、これを歐洲風に仕込んでゆく經過を創作しやうとしてゐる裡にふとしたことからこの娘を印度のタムタム姫としてパリーに連れかへることになりこゝでこの娘の踊りが大當りをするといつた筋である、監督はエドモンド・T・グレヴイル、ベイカーのねばつこい踊りがものを言ふ映畫である帝都キネマ上映中スチールはジョセフィン・ベーカー

映畫 〃春の調べ〃 ——チエッコ映畫——

題名の示すごとくこれは靑春を讃美した映畫である、靑春のもつ喜び、悲しみ、美、希望、苦悶、といつたものがグスタフ・マハティの異常な神經によつて感覺的に表現されてある、そして若さに對する健康な眞摯な追究的態度がこの映畫の眞價を傳へてゐる、若くして夢みがちな農家の一人娘をとらへて、結婚、失戀、離婚、再婚、母への經過を、情熱なき商人を對蹠に見事に生し切つてゐるのである、水浴後素裸で野原に馬を追ふ健康美、創造の喜びを傳へるラスト・シーンの法悦等、特異な表現の中に精彩を放つてゐる、人だけでなく昆虫、草花等自然に對する「眼」も好ましい、全體を通じて部分的に一人よがりなところがあり、これらの表現が全て新しいものであるとは思はれないが、とに角この一篇による靑春への堪能は充分に觀るものを喜はすものがある、ヘデイ・キースラーは傑れた演技を見せてゐる、異色ある映畫として一見の必要があらう、新京キネマ上映中（N生）

▽帝都キネマ—十五日まで、高田稔、伏見信子、山路ふみ子、霧立のぼるの「曉の麗人」嵐寛壽郎の「右門捕物帖花嫁地獄變」ジョセフィン・ベーカー、アルベール・プレヂャンの「タムタム姫」

△豐樂劇場—十日まで、中野英治、千葉早智子、神田千鶴子の「都會の怪異七時〇三分」イブリン・レイの「夕暮の歌」

英ゴーモンの躍進 米映畫界への進出劃策

進境著しい英映畫界に躍進を續けてゐるゴーモン・ブリティッシュ社は最近ラッヂャード・キプリング原作の「ソルヂャース・スリー」の映畫化にヴイクター・マクラグレンを主演者に選んだ他サリー・アイラース、エドマンド・ロウ、エリザベス・アラン、リチャード・アーレン、ロバート・ヤング等を續々契約したが更に今度二十世紀フォックス社と俳優脚本、作家、監督の相互交換の提携を結ぶに至つたので更に米國映畫界への飛躍準備として異常な注目を受けてゐる

雜音

新キネのスクリーンの斑點がなくなつた銀粉を塗つたスクリーンが乾き切つてゐなかつたさうである▼「春の調べ」「タムタム姫」「夕暮の歌」ともに好評、夫々の好みに應じての賑ひであつた▼映畫を水もの扱ひにし過ぎるといふ議論がある、非科學的な理論を根據においた興行の弊害と、映畫そのものへの惡影響を指していふのであらうが、心すべきことではないかと思ふ、現在の製作機構も惡いが、これに甘んずる興行者諸君も亦罪なしとは言へまい▼映畫は商品であるとともに一個の藝術品である、そして映畫興行には利潤のつきまとふものである、然し餘剩な利潤にのみ走りすぎて、文化の一分野を占める映畫を混亂に陥れる通弊は心良きものではない

今日の演藝街

▽長春座—十四日まで、齋藤達雄、高杉早苗、桑野道子の「彼女は嫌やといひました」右太衛門、佐久間妙子の「海內無双」大內弘の「ぎつちよの秋太郎」

▽新京キネマ—十三日まで、杉狂兒、澤村貞子の「軍國子守唄」ヘデイ・キースラーの「春の調べ」「夢は坊やの枕もと」

一月十四日　火曜　乙未　先勝　破　尾宿
舊十二月二十日

●一白の人　貪慾は身の發達を妨け他の尊信を失ふべし甲と乙と庚が吉

●二黑の人　人の事には口を開かず一家の安全を謀る日丁と庚と壬が吉

●三碧の人　身を守ること嚴なれば人に乘ぜらる事なし乙と丁と庚が吉

●四綠の人　騷げば騷ぐ程紛擾の加はる日靜肅なるが吉乙と丁と辛が吉

●五黃の人　冗談の中に邪氣の籠る日辯口に注意すべし丁と庚と辛が吉

●六白の人　健全なる歩調を取れば急がずとも達せらる庚と辛と癸が吉

●七赤の人　大望ならざれば通達す相談事は殊に功あり丁と庚と癸が吉

●八白の人　人の鼻息を窺ひて撓折せらる着實たるべし乙と丁と庚が吉

●九紫の人　大事を企つるは自ら家の土臺を掘るが如し乙と丁と辛が吉

大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊　【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓
郵税　一ヶ月拾五錢
廣告料金　普通一行　壹圓五拾錢　特別一行　貳圓五拾錢

發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話【編輯部專用三二二五　營業部專用三三二〇】
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越內之介

再開委員會愈よ今日

新訓令の下に於ても會議脱退は避け難い

我代表部代辯者の談

【ロンドン十二日發國通】日本代表部代辯者は回訓到着の夜外人記者團から會議進行の可能性に就き質問を受け左の如く答へた

新訓令の下に於ても吾人は會議脱退が結局避け難い事と思つてゐる、新訓令は單に平等權主張の諾否決定だけで即座に會議を閉づる事なからしめんとするものである、即ち若し英米佛伊四國が日本の共通最大限案を拒否するならば永野全權は進攻的武器の廢止を提案し同時に建艦競爭回避の希望表示の五國共同宣言を慫慂し、平和的なる此兩案を通じ出來るだけ友好的な雰圍氣の中に會議を辭する事になるであらう

太平洋防備設備の具體的調査開始

軍縮決裂に對する陸軍方針

【東京國通】軍縮會議の成行に就て陸軍は沈默の中に重大關心を拂つてゐる、右は會議決裂後無條約狀態となる一九三七年以後に於て太平洋防備制限が消滅する事が直接陸軍に考慮の必要を生ぜしめるからである即ちワシントン條約第十九條の防備制限條項により陸軍としては基隆、澎湖島父島、奄美大島の各要塞に對し何等の防備設備を爲さず今日に至つたが、明年からは此制限が消滅し英、米兩國がその太平洋島嶼及び屬領の防備施設を強化せんとするは必至である、よつて陸軍は軍縮會議が一段落すれば海軍當局と協議、防備設備の具體的調査を進める方針である

帝國政府の回訓案我全權團に到達

岩下首席委員以下作戰を練る

【ロンドン十二日發國通】帝國政府の回訓は十二日午後一時半大使館に到着、之を受取つた岩下首席委員以下代表部員は直ちに回訓案の研究に着手した

仄聞するに回訓の重點は我共通最大限方式案を表決に附する以前に充分攻撃的武器の排撃その他我主張の再度徹底を期すべしといふにあり全權部としても別に新たな交渉を寄せずして大體既定方針で進み得る事が判明且英國側も充分これが爲斡旋の勞をとる見込みがたつたので本省の希望に副へ得るものとし全權部も更に確信を深め、十四日の第一委員會に臨む最善の作戰も研究する事となつた

日本案討議を延期

破局を回避か

【ロンドン十二日發國通】帝國政府の重大回訓の結果海軍々縮會議の前途に一轉機を豫想されるに至つたが、消息通の見解を綜合すれば英國側は何等かの方法により此際一時帝國政府案たる共通最大限方式案の討議を留保して各國間の協定を達成する上に比較的容易な問題から片づけて行く方針に出るのではないかと觀られる、即ち十四日の會議では英國全權團は專ら議事進行の斡旋に努め、日本案たる共通最大限案の採決を延期し且つ出來得れば議事を變更して潜水艦使用制限問題、商船武裝化問題等の比較的纏め得る可能性大なる題目に轉向するものと觀られ、破局は一時回避されるのではないかと觀らるるに至つた

回訓到着で

愁眉を開く英代表

【ロンドン十二日發國通】十二日の臨時閣議で帝國政府が會議の圓滿なる進行を期待し全般的協定の達成に努力し已むを得ざる事態の發生せぬ限り脱退を防止すべしと回訓を發したとの報道は各國代表部を尠なからず安堵せしめた感があるが、就中英國側は會議招請國としての責任もあり大いに愁眉を開いた態で十二日午後英國代表者の某有力者は左の如く語つた

日本政府の回訓は誠に喜ばしい限りだ、海軍會議招請國として英國の採つた目標は終始一貫平和の促進にあつたもので、英國は勿論海軍制限協定の出來る事を熱望して止まないものだ、而して萬一これが出來なくとも尠くとも國際間の友好的雰圍氣を持續強化して猜疑不安の余地なからしむる爲め全力を擧げて努力して居る、吾々はなんとかして會議が滿足な大團圓に到達するやう努力せねばならない

私的折衝結果で

委員會議事方向決定せん

【ロンドン十二日發國通】帝國政府の回訓到着により海軍會議は危機を孕んだまゝ一大轉機に直面した感があるが、十三日は英國代表を中心として各國代表部間に個別的折衝が行はれる模樣でその二國間の私的折衝の結果により大體十四日再開される第一委員會の議事の方向は決定をみるものと見られてゐる

機會ある每に我軍縮精神を闡明

外相より在外使臣に訓令

【東京國通】軍縮會議に對する重大回訓を發した廣田外相は十三日同樣主旨の訓令を齋藤駐米、佐藤駐佛、杉村駐伊各大使以下在外使臣に發電しロンドンと呼應し各使臣をして駐劄當該國政府に對し機會ある每に日本政府の徹底的軍縮根本精神を闡明せしめると共に日本の軍縮政策に對する誤解を一掃せしめ、世界平和の實現希望の帝國の傳統的態度の明白化に努めしむることとした、右訓令の內容は大要左の如くである

一、日本政府は世界海軍力の徹底的縮小を希求するものであり、不脅威不侵略海軍々縮の實現の爲には主力艦航空母艦、甲級巡洋艦の如き攻撃的兵力の全廢縮小を斷行せんとするものである

一、不幸ロンドンに於ける各國全權團が日本の徹底的根本精神を理解せず會議が協定に達せずして終結したる曉にも日本政府はロンドンに於ける我軍縮精神の崇高なる理想を想起し建艦競爭沿岸防備の強化等による不安に刺戟される各國間の關係調整に關し萬全の措置を講ぜんとするの用意がある

一、帝國政府の終始變らざる平和愛好の精神につき各國政府をして適正なる諒解を得しむべく在外各使臣は最善の措置を講ずべし

理事團漸く反伊的態度

注目される廿日の理事會

【ジュネーヴ十二日發國通】一月二十日から開會される聯盟理事會は對伊制裁強化か和協促進か聯盟の態度を決すべき重大決定を行ふものであるが結局理事會への空氣を左右するものは英佛であり、これ等兩國共この際和協にも乘出さず、制裁強化にも反對といふ態度と解される以上、理事會も何等重大決意を行ふ事なく專ら成行を見送る態度に出る事となるものと觀られ、理事國中には制裁強化を主張するものもある模樣であり過般イタリー飛行機の赤十字病院爆撃以來聯盟國內に於ける反伊的感情が相當激化しつゝある事は事實であるが、英佛兩國は專ら問題の現實的處理を強調し現狀維持で進み暫く靜觀する事の得策たる所以を力說し理事會をリードする事になるものと見られて居る

宇佐美理事東京に到着

【東京國通】滿鐵宇佐美理事は十二日午後九時入京した同氏は滿洲國鐵道借款利率引下げに關し對滿事務局に說明諒解を求める筈である

川村間島總領事着任

【龍井國通】新任川村間島總領事は十三日午後二時二十二分着列車で家族同伴着任した

外蒙ソ聯間に締結された新密約

確實なる方面への情報によれば外蒙代表モスコー訪問の結果外蒙ソ聯間に左の如き協定締結をみたと

一、外蒙武力の增強外蒙國への赤軍將校の增加

一、外蒙側よりの五億ルーブル借款要求に對してはソ聯側は目下の情勢により五千萬ルーブル借款に應ず

一、軍事借款に就てはソ聯軍部の裁量に任ず

一、外蒙軍部及びソ聯邦極東間の關係を規定し將來益々その親密關係を增す

CC團天津潜入

自治派要人暗殺を企圖す

【天津十三日發國通】天津フランス租界にCC團員が再び潜入し反自治救亡團を組織し劉不同、胡家壽等が中心となり陳果夫の密令を受けて反日及び自治派要人の暗殺を企圖して居る、既に十二月三日冀東政府の某要人を逮捕し天津に於て十日間拷問に附した事が判明した

蒙古旅行概説（六）

[illegible]

滿洲國蒙政部大臣は當旗の出身で、前の旗長であるが、その邸宅は立派なる幾棟かの建物から出來てゐるが恐らく漢人から負ふた借金からの遺物であらう、今は負債の整理も略ぼ濟いたといはれてゐる、誠に結構な話である現在に於ける旗長は同じく蒙古人であるが旗長代理の名義であり、其の下に日系官吏が數名ゐて補佐の役目をうけたまわつて從前からの蒙古役人相手に萬般の事務を取扱つて役所の名を旗公署と改稱してゐる

滿洲國となつて、行政組織制度が代つたばかりでなく、地方開發の大方針から蒙古の地にまで鐵道が敷かれて、本年開通したばかりの新京から洮安に通ずる一線が、此の旗內を縱斷して、玉府驛なる一停車場が新たに置かれ新京から馬か車で四、五日を要した行程が今では纔かに五、六時間で達し能ふほど蒙古の土地にまで文化の光が訪れた。此の驛は唯だ、旗公署往復に乘降するだけの一驛にすぎぬが、同旗內の北方の或一地點にまで前郭旗驛といふ一停車場が設けられた。そこはもとカロン站と稱したる蒙古の一部落であるが、交通上の要路に位したるところで、即ち東の方は松花江に近く扶餘に通じ北は嫩江を渡り左岸の一要地茂興站に、更に北西は大賚に到る、併し從來蒙古の牧地內で、寥たる部落であつて今までは四、五の蒙古役人がそこに交替出張して、單に或る事務を取扱つてゐただけであるが、鐵路開けて驛が新設さるるやたちまち繁賑雜閙の巷と化し、土地を借りるもの家を建てるもの等の千客萬來で地主たる蒙古旗に豫想外の收入來となつて、旗公署より位地ある蒙古吏員が、遽かに出張、事務を取扱つて日夜忙殺されて現在もその通りで、將來ともに有望なりときく

蒙古の地に鐵路が縱橫に敷設されて其の利益均霑によろこびつゝあるは此の蒙古旗のみでなくその沿線蒙古は皆な左樣であるが、彼等は滿洲國の支配下となつてかかる文化の力に惠まれたるのみならず、吏員となつてゐるものは、從來とちがつて每月の職俸はきちんとふところに入り、彼らの衣食住に愕くべき異狀をきたしてゐるが、彼等の前途果して如何に豹變しゆくか頗る疑問である

冀察政務委議會制度組織へ

【天津十三日發國通】王建中武宜亭氏等華北自治派要人が中心となり冀察政務委員會を母體として議會制度を組織せんとし既に右委員李廷玉氏の贊助を得宋哲元氏も所要の資金を出す事になつてゐる、即ち自治運動盛んなりし頃の各縣市自治聯席會を取敢えず冀察省民代表臨時大會と改稱、內容を改組して各縣市より一名の代表を出し五名の主席代表に王建中、武宜亭、陳修夫劉中儒及び宋哲元氏の推薦者を充當する事に決定した、而して右代表を以て法政、經濟外交、政治を代表する委員會を設置し政治、經濟、外交、豫算決算の議定を爲す筈で近く冀察政務委員會の會議にかけ具體的に決定する模樣であるが議會制度の前提として注目されてゐる

宋氏天津行十四日に變更

【北平十三日發國通】宋哲元氏は昨十三日天津に赴く筈であつたが、豫定を變更し本十四日朝出發することとなつた天津に於て宋氏は天津軍並に川越總領事等と會同して大沽事件、朝陽門事件等二十九軍兵士の不法事件に關し善後處理に入るものとみられてゐる

胡適氏一行明日蔣氏と會見

【上海十三日發國通】北京大學教授胡適氏は三十名の教授團を引率して十二日南京に到着した、十五日蔣介石氏學生代表との會見に出席の筈である、尚蔣介石は右會見に於て政府の外交政策に關し聲明書を發表する事になつてゐる

中野氏一行上海發南京へ蔣氏と會見

【上海十三日發國通】中野正剛氏一行は十二日夜上海北停車場發南京に向つた、昨十三日午後蔣介石氏と會見、十四日朝歸滬し同日長崎丸で歸國の豫定である

シャム內相に勳一等旭日大綬章御下賜

【東京國通】畏きあたりでは十一日目下來朝中のシャム內相マヌタン氏に對し勳一等旭日大綬章御下賜の御沙汰あり同日宮內省より傳達された

國務院會議の決定人事

十三日の國務院會議に於て次の人事が決定した

任交通部總務司長 平井出貞三
兼郵務司長（簡任一等）
營繕需品局需品處長 小泉三郎
兼營繕需品局營繕處長（簡任二等）
交通部郵務司長 藤原保明
依願免本官

滿洲國を辭せる藤原保明氏は既報の如く遞信省に返咲き名古屋遞信局長に任命されることに決定したがその後任として今回滿洲國入りをした平井出貞三氏の略歷は左の如くである、大正五年東大獨法科卒在學中高文試驗に合格し遞信局を振出しに同省關係の各官を經歷昭和十年勅任官となり札幌遞信局長に補されそれを最後に今回の滿洲國入となつたものである、尚同氏は山梨縣巨摩郡の出身で本年四十六歲

土肥原少將來津

今日宋哲元氏と會見の筈

【天津十三日發國通】土肥原少將は午後七時三十五分來津したが、十四日北平より來津する宋哲元氏と會見重要協議をなす筈である

安奉線視察の松岡總裁十五日新京へ

【奉天國通】松岡滿鐵總裁は沿線視察の爲十三日午後五時四十分着列車で來奉一泊の上十四日午前七時奉天發途中本溪湖を視察、午後安東に赴き一泊の上新京に引返す豫定である

伊澤東京支社長廿一日東上

【奉天國通】滿鐵東京支社長に榮轉した伊澤道雄氏は來る二十一日奉天發ヒカリで離奉朝鮮經由東上する事に決定した

人事往來

▲吉田大將（電業公司董事）十三日午後內地へ
▲伊澤滿鐵東京支社長　同奉天より
▲宮本滿鐵前總務部資料課長　同
▲松本滿鐵總務部資料課長　同
▲片倉忠氏（立川飛行第五聯隊）十三日午後來京名古屋ホテル
▲遠藤操氏（同）同
▲石渡周次氏（日本コロムビア會社々員）同
▲淺野孝史氏（請負業）同
▲田中民藏氏（請負業）同
▲米內山庸夫氏（ハイラル領事）同來京國都ホテル
▲中島富貫之氏（滿洲航空會社經理部長）同
▲淺野陸奧男氏（航空兵大尉）同
▲鴨脚光朝氏（官吏）同
▲太田一郎氏（關東軍司令部附）同來ゝ北滿旅館

航空往來

△菊地少佐十三日午前奉天より
△西村吉造氏（公主嶺）同午後ハルビンへ
△菅野中佐同

偶語

地方事務所主催の戸外週間が十三日から始まつた、各學校では耐寒行軍スケート會などゝ週間中特に戸外運動の奬勵に當ることになつてゐるが▼この運動に對する一般市民の態度は至つて無關心で各學校を除いては笛吹けど人踊らず、たゞ掛聲ばかりに終りそうなのは遺憾至極といふほかない▼戸外運動の必要なことは、今更ら喋々を要せず、前にも本欄で述べて置いたとほりだがこの週間を迎へて一層その切實さを感ずる▼同時に今にして自覺せなければ保健上寔に由々しい一大事であらう事を吾々は國家のため憂ふるものだ▼人口に比例してお醫者の數がまた恐らしく殖えたものだ、殊に齒科醫の如きは僅か事變前三軒から三十一軒に增してゐるのはさすがに新京ならばこそである▼これでは時にいかゞはしい噂などを耳にするのも當然だが、それでも各醫院ともそれ相當に繁昌してゐるのだから世の中に病人が絕えぬといふのも道理だ

社説
戸外週間の意義

滿鐵各地方事務所主催の戸外週間はいよく昨十三日から全滿一齊に開始された、「火よりも陽」「晝ふむより大地を」「健康第一、戸外へ」などのモットーの下に行はれる戸外週間は一年中の半分を室内に閉ぢ籠つて蟄居生活を餘儀なくされてゐる在滿邦人の健康增進のため極めて意義深い年中行事の一つとして一般から賞讃されてゐる、戸外運動の主旨は新鮮な外氣を呼吸し日光を浴びて心身の健康を計るにあるが多の長い滿洲では殊に戸外に出て運動不足と溫暖な室內空氣によつて抵抗力を失ひ勝ちな健康に耐久力を養ひ强壯な身體を鍛錬する必要が痛感されてゐる

◇

在滿邦人の健康に關する統計は極めて悲觀的で徵兵檢査の結果は在滿壯丁の不合格率は內地よりも遙かに多く兒童の身體檢査によればこれ又內地の兒童に比較して極めて惡化してゐるといふ狀態にある滿洲建設の壯途半ばに健康を害ひ內地に歸還を餘儀なくされる靑年又は渡滿僅か一、二年にして病魔に犯され病沒してゆく人が在滿邦人の增加に伴ひ年々に增加してゆくといふ悲しむべき傾向は主に多の蟄居生活に基因してゐるのであつて、多の保健法の適否は全く在滿邦人の生命を決定的ならしむるといつても過言ではないのである、邦人の多の生活をみるにストーヴ、ペーチカ、スチーム等の暖房裝置によつて室內溫度を六、七十度にまで高め、窓は二重硝子でその上に目張りをして外氣と室內を全く遮斷してしまつてゐる、これでは一度外出すればつめたい外氣に觸れ忽ち風邪をひき咽喉を害ふことは火をみるよりも明らかで遂には取返しのつかないことになつてしまふのである

◇

保健の要は抵抗力を養ふにあるといはれてゐる、抵抗力を養ふには先づ戸外に出て大氣に接し充分日光浴をすることである、散步スケートなどはその意味で最も有効であらう殊にスケートは滿洲の多の唯一のスポーツでもあり大いに奬勵すべきである最近各學校の兒童生徒を始め一般人の間にスケート熱が昂がりつゝあることは保健上誠に喜ばしい傾向である新京地方事務所においても戸外週間の意義を徹底し普及するため同週間には積極的に市民に呼びかける爲十三日は保健所長羽生秀吉氏の「戸外週間の意義について」と題するラヂオ講演を行つたほか、屋外ラヂオ、體操スケート大會、寶探しなどを催し又在京中、小學校では南嶺の戰跡訪問、衞生講話、耐寒行軍遠足、スケート大會などを行ひ全市民を擧げて戸外週間を意義づける事となつてゐる

◇

戸外週間において前述のやうな各種の催しを擧行し戸外運動の奬勵をしても同週間中だけ戸外に出たのでは成果は期せられない、戸外週間を設けたのは同週間內に戸外へ出る習慣を養ひ週間終了後も續行せしむるといふにある、滿洲國の建設は在滿邦人の協力にまつところ多大である邦人の健康如何は滿洲の發達に影響するところ甚大であるから望むらくは戸外週間によつて戸外生活の習慣を養ひ大いに保健の實を擧げ、同週間を意義深くせしめたいものである

複雜化せんとする 滿洲國々際關係（二）
過去は躍進、好轉の連鎖

×

日本の滿洲に對する放資は一九三四年度の臨時受取部門三六九、三九六が決定的計數である事が窺知されるのである勿論これには滿洲國內の社會株式、社債募集、賣渡、滿洲國外からの借入金、預り金その他の滿洲に對する投資が加算されてゐるが滿鐵の株式及び社債を中軸とする滿洲國內の會社並に株式社債の募集と賣渡額は滿洲に對する投資金融の六割八分を占めてゐるのである、滿洲に對する投資の中には商業的資本とか或は金融資本等の强化キャピタルも加味され滿洲國外からの預り金又は借入金は概ね土木建築事業に關聯するものであるがこの範疇に於る日滿相互の金融資本と經濟的關係は極めて緊密なものである、日本の金融キャピタルは一面政治的機構と他面滿鐵を中心とする近代的企業の體系に對して支配的な立場にある、轉じて隣邦の大國支那の財政狀態はどうといへば銀流出の結果その經濟は困窮のドン底にある

×

銀價の昂騰および米國の銀買入れ豫定額は十九億弗といはれてゐるがこれによつて支那の財政難は一層深刻化しこの儘推移すれば支那の財政は恐らく一年以內で破產するだらうとまでいはれてゐるのである

財政的に苦難の支那は資金の融通を念願して米國に泣きつく外二千萬ポンドのクレヂット設定問題に就ても英國と鋭意交涉中であるといふ、支那は日本の對支經濟的援助云々を利用して英米兩國の支那に對する借款の促進運動に餘念がないのである

×

支那の幣制改革問題を繞る英米兩國政府の政策的對立動向關係は從來の國際的經濟的問題として世人の視聽を蒐めてゐるが米國の銀政策は經濟的動機よりも寧ろ政治的動機にスタートしてゐるのである即ち米國に於る銀價吊上げ政策の採用に當つて銀價の昂騰が支那の經濟にまた米國の對支貿易に取つて有利であるか或は不利益であるかの問題を繞つて

米國大藏省は不利益說を唱へたにも拘らず所謂銀ブロック議員等は異口同音に有利說を强調したのである、支那に派遣される事となつたロヂャース教授が支那に到着するかしない內に米國政府は銀ブロックの强要に堪へずして銀價の吊上げ政策を强行して終つたのである、これによつて米國の銀政策は表面支那の利益に合致し、若くは支那の經濟難を匡救すると言ふ建前であつた事が看取されるのであるが併し乍ら事實は全くこれに反して銀價の昂騰は支那經濟のデフレーションを馴致し、例へばフォーブス視經團の報告が諦摘せるやうに支那經濟の窮況が單なる銀價の高騰によつてのみ招來されたものでないにせよその一つの大なるエレメントとなつた事は掩へ難いファクトである、米國の銀政策は結局根本位から離脫する支那の幣制改革の責任を負ふべきもの或は米國の銀政策に對する支那の反抗的な答案であるとするのが現下の常識であらう

長崎上海間 海底電線不通

【上海十一日發國通】長崎＝上海間の海底電信は風浪の爲故障を生じ十一日午後零時半より不通となつた、故障場所は目下のところ不明であるが修復迄には約一週間を要する見込みである

滿鐵資料課長 更任挨拶

新任滿鐵資料課長松本豐三氏並に前資料課長宮本通治氏は更任挨拶のため十三日午前八時三十分來京、ヤマトホテルに入つた

江口司法科長 着任

哈爾濱警察廳司法科長から首都警察廳司法科長に榮轉した江口治氏は十二日午後一時五十二分あじあで夫人同伴首都警察廳員多數の出迎を受け着任した、十三日登廳し科員を集め着任挨拶並に訓辭をなした、同氏は警視廳搜查課長から滿洲國に招聘された敏腕聞へ高い人で、今後の活躍を期待されてゐる

海國日本の誇り
精密航海圖表完成
淺井一等運轉士十五年の努力

【東京國通】日本の航海術は近年長足の進步を遂げ海軍でも民間海運界でも海國日本の名に恥ぢぬ躍進振りを示して遙かに歐米を凌駕するに至つたが、この誇るべき日本航海術に更に一つの重要な時機を劃すべき考案即ち精密な航海圖表が東京高等商船學校教授練習船大成丸の一等運轉士淺井榮資氏の十五年間にあまる努力と苦心の結晶として最近完成され斯界の注目を惹いてゐる、此の新圖表によると航海術に要する難解の天文、地文の計算が凡て一本の定規で讀めるので複雜な計算に頭を使ふ事もなければ間違ひもそれ丈け尠くなり十五分かゝつた位置の算定は少く共その三分の一の五分には切詰められ從つて船のスピードが增すにつれ寸刻を爭ふやうになつて來た船の操作の安全を期し得られやうと云ふのである

選擧肅正

選擧肅正に大童の東京市ではトーキー映畫を製作する事となり九日午前十一時から牛塚東京市長の出演のもとに撮影された

中西部防衞司令部 大阪と小倉に

【東京十三日發國通】陸軍では昨年八月軍令を以て發令を見た防衞司令部條令により本年八月一日中部及び西部防衞司令部を設置し昨年八月東京に設置された東部防衞司令部と聯繫、國土防衞防空法の完璧を期する筈であるがその概要は左の如くである

△中部防衞司令部
設置個所、大阪市、司令官第四師團長

△西部防衞司令部
設置個所、福岡縣小倉市、司令官、第十二師團長

中國共產黨 益々活潑に活動

【奉天國通】南京政府が聯ソ容共政策をとり之に基いて中國共產黨が各地に於て活潑なる活動を開始しつゝある事は既報の如くであるが、最近一味の逮捕により共產黨の活動に關する有力なる資料となる書類が發見された、即ち十二月一日附中央政治局より天津司令官に宛てた電報指令要旨は第三インターの規定せる羅明路線は中國側よりみれば大西北主義であり中ソ兩國の立場より言へば新たなる通商の捷徑と稱するを得べく現在ソ聯政府は通商條約締結の諒解を得たので更に一步を進めて中國と政治、軍事、教育、經濟等各般の交涉を密接にする可能性あり仍つて第三インターは國境合作辦法を建議し改革草案を提出せるを以てこの過程中に於て我が同志は一切の行爲を愼重にすべし又同月九日附の電報指令に於ては中央執行委員會の指令によれば國民黨と本黨とは既に本月一日を期し一九二五年の國境合作を回復し共同して打倒帝國主義を展開し世界革命を實現せしむべく此の合作は第三インター及び本黨中央の諮詢を經たによつて中央政治局は第十二次總會の決議に基き平津の靑年運動合作特派員中より九名を選び平津に派遣して平津中大學生の反日運動を指導せしむべく尙本運動は國民黨蔣夢麟、胡適等と協力すべし

丁香盧漫筆（四四）
◎生ける發掘物（上）

露件の『出鱈』に確か『歷史の神の見ても醜くや』の句に始まつて、歷史なるものを相當痛烈に罵倒し歷史なんてものは種々の人間が寄つてたかつて担ち上げたイカ樣物である、唯藝術こそは眞實にして崇むべきであると云ふやうな意味のことを歌ふてあつたやうに記臆する。

×

或る意味から云ふと全く其通りで歷史程世に當にならぬものは無いかも知れぬ現在日常の新聞記事や電報でも事實を正確に傳ふるものは稀で怎うかするど反對になつてることなどもある。そんなら官憲の手で出來た公の記錄は如何うかと云ふに是亦余等の狹い範圍內丈けで目擊親睹した事實や眞相に徵するも餘り信憑するに足らぬ、更に角複雜した世相を寫すのに運動競技のレコードを取るやうに簡單正確になるやうなことは全然抹殺の厄に遭ふか或は甚しく歪曲されて傳はるのは昔も今も同一轍である。

×

書き度くとも書けぬ言ひ度いが恐いと云つた連中が巧に責任轉嫁をやつて『後世史家の筆に待つ』などと逃げるのだが後世史家こそいゝ迷惑で如何に炬の如き史眼を睜はつて見ても二三百年前の杜撰歪曲の史料では嚴正批判は望まれ無い、結局有耶無耶に葬られるが落ちだ、斯く觀じ來ると露件で無くとも歷史程詰まらぬものは無いのだが歷史家に取つてはそこが狙處で我こそはと云ふ譯で躍起になつて勉强もし研究もして獨りで意氣込み獨りで喜んで居るものらしい。

×

歷史研究も發掘が行はれてより一新生面を開くに至り群籍の涉獵文字の考證以外新なる發掘物出土品に依りてどんく研究が進められ、東洋方面では中央亞細亞に於けるペリオ、スタインの發掘以來欒浪殷墟發掘の今日に至るまで驚くべき新史料が現はれ此に因りて歷史上全然缺けた部分を補ひ曖氣な部分をハッキリさせると云ふ極めて科學的な方向に進んで來てる。これなら滿更面白くないこともなからうと多少の興味を唆られる次第である。滿洲國內でも事變以後の契丹文字の陵碑の發見を初めとして各地で種々發掘が次ぎくに現はれ來つゝある、金鑛沙金の所謂ゴールドラッシュも面白いが此種の發掘も惡くは無い。

伊澤滿鐵東京支社長 きのふ挨拶に來京

大淵理事の後任として鐵路總局次長から滿鐵東京支社長に榮轉した參事伊澤道雄氏は十三日午前七時卅五分來京各方面を訪問挨拶廻りをなすはず

及川第三艦隊司令官 南支視察へ

【上海十三日發國通】嚢に上流各地視察に赴いた及川第三艦隊司令官は昨十二日午前十一時襄陽丸で歸滬した、長官は十四日朝南支視察の爲め旗艦出雲で出發の豫定である

商況欄（一月十三日後場）

金銀市況

銘柄		
●上海標金 前引	一二四〇、一〇	
後寄	一二三九、七〇	
步	四〇、〇〇	四〇、五〇
●大連金鈔票 寄付	一〇一、〇〇〇	
引	一〇一、七五	
高	一〇一、一五	
安	一〇一、六〇	
出來高	三五万	
▲一月二十八日限 寄付	一〇一、七〇〇	出
步	一六、〇〇 一七、五〇 一八、五〇	
二月十三日限 寄付	四〇、五〇	
高	三一、〇〇	
安	一九、五〇	
引	四〇、〇〇	不 來
出來高	一〇三、一五 一〇一、六〇 一〇〇万	
●大連鈔票銀大洋 寄付	一〇九、七五	申

爲替相場

▲上海爲替 ▲日本向 第一回 賣買	一〇三、五〇〇	一〇四、〇〇〇
第二回 賣買	一〇三、六二五	一〇三、一二五
▲倫敦向 第一回 賣買	一志二片三二分一	
第二回 賣買	三二分一九	
▲紐育向 第一回 賣買	二九弗一六分三	三〇弗〇〇
第二回 賣買		
大連爲替 ▲上海向	一〇一、五〇〇	一〇一、三五〇
	一〇一、五五〇	一〇一、二〇〇
	一〇一、七〇〇	一〇一、三〇〇
	一〇一、六〇〇	一〇一、五〇〇
	一〇一、五〇〇	一〇一、六〇〇
▲煙台向	一〇一、五五〇	
	一、五〇〇 一、三〇〇 一、四五〇 一、五五〇 一、六〇〇	

株式相場

▲大連株式（短期）

銘柄	寄	引
五品	一八、五〇	一八、二〇
豆新	三一、二〇	三一、一〇
鈔新	一五、一〇	—
東新	一五〇、七〇	一五〇、〇〇
鐘新	一三、二〇	一三、〇〇
滿鐵	二四、二〇	一二九、六〇
二新	七四、二〇	七四、〇〇
日產	[illegible]	—
▲奉天株式（短期）	寄	引
滿取	一七、四〇	一七、三〇
東新	一六三、六〇	一六三、五〇
大新	九三、六〇	九三、五〇

各地市況

銘柄		
日產	四〇、八〇	四〇、八〇
五品	一八、五〇	—
豆新	三一、一〇	—
鐘新	一七〇、五〇	一五〇、五〇
電甲	一六〇、五〇	一六〇、五〇
同乙	二五、六〇	二五、三〇
滿鐵	一五六、五〇	一五六、五〇
東拓	一〇、五〇	一五、五〇
東亞	一五、五〇	—
日魯	六一、〇〇	—
滿興	三五、八〇	—
二毛	一七、五〇	—
二新	二四、六〇	—
優先	一七、〇〇	—

▲橫濱生糸

	前場引	後場寄
當限	八六九、〇〇	八六五、〇〇
先限	八六一、〇〇	八六八、〇〇

●哈爾濱大豆

一月限	一〇、〇〇〇
二月限	九、八〇〇
三月限	九、七〇〇
出來高	—

●同小麥

一月限	一、三〇〇
二月限	—
三月限	一、三五〇
出來高	—

▲神戶豆粕

一月限	四、一八	四、一八
二月限	四、一二	四、一四
三月限	四、一四	四、一四
四月限	四、一四	五、一四
五月限	四、一五	四、一五

新京取引所市況（一月十三日後場）

現物（一石値段）
定期（混合百斤値段）

	寄	引
先物 大豆	一〇、四〇	四車
一月限	四、九六	四、九七	二五車
二月限	四、九四	四、九七	一車
三月限	—	—
四月限	—	—
五月限	—	—
高粱	高粱	
二月限	三、五九	三、五九	二車

手形交換（十一日）

金票	三五三枚	五七五、九九〇円
鈔票	一枚	三二〇円
國幣	一六六枚	四三六、四三三円

鮮魚小賣相場（十三日）百匁ニ付

品名	最高	最低
活タイ	一、五〇	九六
氷タイ	…	…
チヌタイ	…	…
連子鯛	三〇	一七
アマダイ	三六	一一
中小タイ	四一	三四
ニベ	…	…
ブリ	四〇	三七
カツオ	…	…
ヒラス	四〇	三六
サワラ	四八	三六
サバ	一四	一三
アヂ	一九	一六
カレイ	一二	一八
ヒラメ	一六	一一
ボラ	…	…
コチ	…	…
コノシロ	…	…
キス	四四	二四
イワシ	…	…
ムツ	二二	一六
アユ	一八	…
サヨリ	…	…
マナカツオ	四八	二四
カナ頭	三一	二九
ホーボー	…	…
タイコ	一四	…
イイダコ	一	…
イカ	四八	三〇
水イカ	…	…
イセエビ	…	…
車エビ	七二	五
アナゴ	一六	…
コエビ	…	…
貝柱	…	…
白魚	…	…
カニ	…	…
ナマコ	四〇	一〇
アワビ	六六	四六
カキ	四〇	二五
ハマグリ	…	…
シジミ	八	六
アサリ	…	…
カマボコ	…	六
チクワ	六〇	四〇
マグロ切身	八五	二〇
ニベ同	…	…
ブリ同	七二	五五
ヒラス同	…	…
サワラ	…	…
タチウラ	…	…

間島貿易の躍進（下）

＝對外貿易額と國別貿易＝

△對外貿易額

間島地方に於る對外貿易額を九年度の統計によつて見れば總貿易額は三千四百五十萬四千九百二十七國幣圓であつて入超は實に七百七十九萬二千六百四十三萬圓に達してゐる、間島貿易の斯くの如き飛躍的發展は主として圖佳線方面を始め奥地鐵道建設工事並に新興都市の土建材料の輸入右工事關係の爲め多數の勞働者が入込み此の方面に對する物資の輸入が相當あつたこと等を主因とする一方奥地方面の開發による物資の出廻りも見られるが通過貿易が主位を占め間島地方としてはさして大なる自然的膨脹も見られない、この貿易の躍進は昭和十年に至るも更に持ち越され輸出入合計二千一百二十五萬八千一國幣圓、入超六百七十九萬七千五百十七國幣圓を示してゐる

△昭和九年度間島地方對外貿易額（單位國幣圓）

（稅關別）	（輸出額）	（輸入額）	計	（入超額）
龍井	一、四三七、六五七	四、四一三、五六九	五、八五一、二二六	二、九七五、九一二
圖們	一二、九一八、一九一	一六、七三五、四八一	二八、六五三、六七一	四、七九七、二九一
合計	一四、三五六、一四七	二〇、一四八、七八〇	三四、五〇四、九二七	七、七九二、六四三

△昭和十年上半期間島地方對外貿易額（單位國幣圓）

（稅關別）	（輸出額）	（輸入額）	計	（入超額）
龍井	四七七、六六二	二、一九二、〇八二	二、六六九、七四四	一、七一四、四二〇
圖們	六、七五二、五八〇	一一、八三五、六七七	一八、五八八、二五七	五、〇八三、〇九七
合計	七、二三〇、二四二	一四、〇二七、七五九	二一、二五八、〇〇一	六、七九七、五一七

更にこれを八年度と比較する時は輸出額に於ては約四倍、輸入額に於て約二倍、輸出に於て九百五十二萬九千五百六十九國幣圓、輸入に於て九百三十八萬六千五百八十國幣圓の夫々增加を示し總額に於ては實に一千八百九十一萬六千一百四十九國幣圓の增加を示してゐる

△昭和八年度との貿易比較（單位國幣圓）

輸出入別	（昭和九年）	（昭和八年）	（增額）
輸出額	一四、三五六、一四七	四、八二六、五七八	九、五二九、五六九
輸入額	二〇、一四八、七八〇	一〇、七六二、二〇〇	九、三八六、五八〇
計	三四、五〇四、九二七	一五、五八八、七七八	一八、九一六、一四九

△國別貿易

間島地方の貿易國別を昭和九年度並に昭和十年度の資料によつて示せば次の如くである

△昭和九年度對外國別間島貿易額（單位國幣圓）

國別	稅關別	輸出額	輸入額	計
日本	圖們	三九、一八八	一一、八八六、三六四	一一、九二五、五五二
	龍井	二、九五七	二、七九〇、四〇七	二、七九三、三六四
朝鮮	圖們	一一、八八八、九五六	四、八三一、一五三	一六、七二〇、一〇九
	龍井	一、四一六、〇二〇	一、四七一、五三三	二、八八七、五五三
中華民國	圖們	六六	八、〇八九	八、一五五
	龍井	—	一一、四二一	一一、四二一
香港	圖們	—	—	—
	龍井	一〇	—	一〇

△昭和十年上半期對外國別間島貿易額（單位國幣圓）

國別	稅關	輸出額	輸入額	計
日本	圖們	四〇、五〇九	一〇、五五八、一〇七	一〇、五九八、六一六
	龍井	一、五四四	一、六五五、一四八	一、六五六、六九二
朝鮮	圖們	六、七一三、〇七一	一、二〇六、八八八	七、九一九、九五九
	龍井	四七六、一一七	四八九、一七四	九六五、二九一
中國	圖們	—	一二九	一二九
	龍井	—	九、五八九	九、五八九
英領印度	圖們	—	一三八	一三八
	龍井	—	二	二
英吉利	圖們	—	五	五
	龍井	—	六	六
獨逸	圖們	—	—	—
	龍井	—	一六九	一六九
北米合衆國	圖們	—	五四、一八九	五四、一八九
	龍井	—	二七、一八九	二七、一八九
其他	圖們	—	六、八五一	六、八五一
	龍井	—	三五四	三五四
英領印度	圖們	—	一六	一六
	龍井	—	—	—
歐羅巴	圖們	—	三八〇	三八〇
	龍井	—	五、七七六	五、七七六
亞米利加	圖們	—	一四、一五五	一四、一五五
	龍井	—	一九〇	一九〇
合計	圖們	六、七五三、五八〇	一一、八三五、六七七	一八、五八八、二五七
	龍井	四七七、六六二	二、一九二、〇八二	二、六六九、七四四

東滿

吉林省內道路建設

八年計畫樹立

本年度は千五百餘キロ

【吉林國通】吉林省公署に於ては治安、産業、行政上最急務なるべき地方道路網の一大整備を期し、本年度より八ヶ年計畫四百十萬圓を投じて之が實現に向つて積極的に乘出す事となり目下中央に申請中で本道路網の完成は亦地方民を利する事甚だしく早急實現を渇望されてゐる、尙ほ本年度支出豫定は五十萬圓にし各縣別豫定線距離左の通り（單位キロ）

永吉縣四六六、額穆縣一三九、敦化縣七一、樺甸縣一一一、磐石縣八九、双陽縣五一、伊通縣一二八、九臺縣一五六、長春縣七八、懷德縣二五、長嶺縣六〇、乾安縣五五、扶餘縣一二四、農安縣一〇五、德惠縣九四、楡樹縣一五〇、舒蘭縣九〇、コロロス前旗四五

全長一、五五六キロ

流失せる溫德河子橋改修設計成る

吉林省公署市民要望に應ふ

【吉林支局發】昨夏洪水にて流失せる溫德河子の橋は今尙流失其の儘にして自動車は勿論馬車さへ通ぜず人がやつと通れる位である幸に永吉發の治安保たれ居るに依つて大なる支障なきも産業上よりしても總ての運行杜絶の儘にては對南部落民の財的不幸此の上無くことに同橋は淸朝時代より搖拜所として名高き小白山横向の間に在り昨年は吉林省公署土木科に於て數萬を投じ橋脚より同小白山に通ずる參拜道路の開設をなし民衆に敬皇精神を作興すべく努力せしに同橋流失に依り折角の此の參拜道路も其の用をなさず尙同小白山は吉林唯一なる絶景の地にして一度吉林を訪れると必ず北山小白山に足を引かざる者無く然るに流失後之れが不可能は一般より非常に遺憾とされて居るに鑑み吉林省公署に於ては早くも之れに着眼し既に改修の設計も出來中央に申請中である、勿論中央に於ても他處の事ならず同橋の改修を遲延する筈もなく一日も早く確定改修すべきであると一般民衆間にも要望大なるものがある

吉鐵沿線に農産物種子を配附

【吉林支局發】吉林鐵路局に於ては沿線住民の鐵路愛護思想涵養及農産品種改良上の見地から毎年管內の愛路村民に農産物種子を配附して居り、今年も圖佳線を除く各沿線地方に左記種類及數量の種子を配附することゝなつた（單位キロトン）

大豆　黄寶種　二一二、〇〇〇
水稻　北海種　三〇、二〇〇
同　田泰種　一七、〇〇〇

然し今年は左の外一歩を進めて沿線及背後地の産業開發につき積極的の助成乃至指導を要望するの聲が次第に高まつてゐるので、同局に於ても更に何等か積極的の方法を講ずるに至るらしき模樣である

上級學校志望者

男女合して六十七名

高女新設の要望起る

【吉林支局發】六年に亘り螢雪の功を終へて本年當地日本學校を卒業する生徒數の見込みは約百二十名程度であるが此內家庭に殘つて家中にいそしむものを除き上級校に進まうとするものは男女を併せて總數六十七名に上つてゐる、玆に男子の方の志望別を擧げて見ると

中學校（新京）一二、商業（〃）一〇、大連工業一、撫順工業二

女子の方は昨年中當地高女新設運動起り今年からでも其實現を見るかに父兄の待望を唆つて居たけれど經費難の爲め無期延期の形となつたので高女入學には矢張り他地方に送り出さねばならぬことになつたが其志望は可なりに多く左記の通り各處を通じて三十七名に達してゐる

新京二九、撫順一、安東一、內地六

天然氷を驅逐

人造氷の普及に努力

＝吉林冷凍、當局に嘆願す＝

【吉林支局發】昨夏創立された當地唯一の製氷會社たる吉林冷凍合資會社にては衞生上人造氷の普及販賣を圖り非衞生的なる天然氷を徹底的に驅逐することを目的としてゐるが當地は松花江を前に横へ無盡藏の天然氷を控へて居る關係上衞生思想に乏しき滿人は勿論邦人側にても彼れを捨てゝ是れに就くことは容易の事に非ず大衆衞生の爲めに遺憾に堪えざる處とし、今回同社にては關係官廳に對し天然氷使用嚴禁方に關する嘆願書を提出し之れによりて興業する人達は同社の人造氷小賣販賣人として生活の途を得せしめたき旨をも附言して其採用を懇願したと言はれる

煙筒山出診所開所式

【吉林支局發】吉林鐵路局に於ては豫て改築中の煙筒山出診所は漸く其の工事を了へ明一月十五日午前十一時より同所に於て開所式を擧行する

吉鐵從事員家族の講演映畫會

【吉林支局】鐵路總局に於ては豫て計劃中の鐵路從事員及び家族に對し保健體育奬勵に慰安を兼ねて全線主要地に亘り講演映畫會を催す事となつた、講演者鐵路總局人事課囑託林田學外映寫技師一名助手一名で一月十四日午後六時より吉林鐵路局四階會議室で開催す

舊正控へ、不逞分子の徹底的取締り

吉林警察廳治安萬全を期す

【吉林支局發】吉林警察廳に於ては迫り來る舊正月前後に於ける省城內の匪賊、强盜、小盜兒等不逞分子の跳梁を徹底的に撲滅する爲め廳員を總動員して嚴重に警戒搜査に當るの外「市民の安居樂業を脅やかす吾等の大敵匪賊强盜不逞分子を一掃せよ」「鼠賊小盜兒を絶滅せよ」「戸締りに要心」「開門時に注意せよ」等の標語を記して傳單を多數印刷、市中の戸毎に配附し、同時に匪賊强盜不逞の徒を逮捕若くは官憲に通告せし者には賞與金を與ふることゝして之を奬勵する等人民と警察とが相協力して省城內の治安維持に萬全を期することゝなつた

吉林中央卸賣市場

七月一日より業務開始

【吉林國通】昨春來種々曲折を經た吉林中央卸賣市場問題は舊臘廿七日實業部認可により急速具體化し十一日徐市長の名により市場設立の聲明が發せられた、而して本春四月解氷と同時に市場諸施設の建設に着手し六月末完成、七月一日より業務開始の豫定であるが、本市場開設後は市場以外の場所に於ける魚菜類の取引が禁止され、從來より廉價に早く鮮魚菜が市民の食膳に上る譯である、計畫概要は市內東大灘江岸鐵道西側七七八〇平方米の地に賣場、倉庫、冷藏庫、醱酵室、事務所鐵道引込線等一切の施設を市自體にてなし、業務は別途に日滿合辦の卸賣市場會社が代行するもので日本側十名、滿側廿五名の仲買人を指定、諸種の好條件に惠まれ市場開設後數年を出ですして一割配當が可能視されてゐる

索倫―南興安 鐵道開通式

白樺の森林間或は白雪皚々たる興安嶺を突進する索倫、南興安間の鐵道開通式は十日午前八時索倫發南興安驛に向つて關東軍鐵道線區司令部久保田少佐、興安嶺內田工事班長等同乘の下に始發列車が運轉された、（寫眞）上、索倫驛（中）關東軍線區司令部久保田少佐（下）始發列車出發

吉林武道場で寒稽古擧行

【吉林支局發】創立後○第一春を迎へた吉林武道場にては武道奬勵會有段者會主催の下に十二日より向ふ三週間本年度の寒稽古を行ふことゝなつた、稽古の種目は柔道及び劍道にて毎日午後六時より八時迄練習をなし其指導には各機關武道高段者が當り叮嚀懇切に教授する筈で希望者の參加を求めてゐるが費用としては入會費の一圓だけである、尙同會では滿人間への日本武道普及奬勵の主旨から滿人には當分無料で教授する由である

小名木理事 關係機關を歷訪

【四平街支局發】四平街實業協會理事に推された元大連商業組合小名木勳氏は十日着四協會各關係者を歷訪赴任の挨拶をなした

四平街地事所長更迭

【四平街支局發】四平街地方事務所長下田一夫氏は鞍山地方事務所長に榮轉、後任所長は本溪湖事務所長增田增太郎氏と決定近く赴任する

酒井四平街警察署長任地に向ふ

【四平街支局發】○○方面へ拔擢榮轉した、酒井元四平街署長は多數日滿官憲の盛大なる見送裡に夫人令孃同伴十一日午前十時四十二分ハトで任地に向つた、後任四平街警察署長は關東州內皮子窩署長井上理吉氏が近日中赴任する

家庭

お重箱の藏ひ方
─の屠蘇器や─ 水氣を切り濕氣を避ける

塗りもの

お正月に使つた塗り屠蘇器やお重箱やきりたち等の藏まひ方についてお話しませう。

◇……◇

辨當屋などがよく角の塗り辨當箱を大きな　の中へジャブ／＼に水を入れて浸けてゐるのを見受けるが安い塗りなればあれでよいのですが、高價なものを、あんなに水の中へいつ迄も浸けて置くことは一等よくありません

◇……◇

水にはなるたけ浸けないやうにして、ぬるま湯でざつと洗つて柔らかい布でよく拭きます、そして水氣をよく切り、一時間程はそのままでおいておきます、すると表がからから乾きますから吉野紙か櫻紙のやうな柔かな紙でよく包みその上を防水紙で包み箱のあるものは箱の中へ納めすき間へ新聞紙などをつめて動かなくして、日光の當らぬ又濕氣のない押入れなどへ仕舞へば、いつまでも丈夫でおくことが出來ます

◇……◇

水氣をよく切ることと日光と風、濕氣に當てぬこととが最も大切です。

痔病患者の非常時
不節制からヒドクなる
その豫防と手當法

これからの寒い季節は痔瘻患者の非常時です。殊にお正月はお酒を頂いたりすることが多いので、痔瘻を誘發することが多くいままで何でも無かつた人が急に痔に痛みを覺えたり或はまた一旦癒つたものが再發したりすることがあります

では痔瘻を豫防するにはどうすれば宜いかと云ふと、まづ身體全體の榮養を良くすること、腰部を冷さぬようフランネルの腰卷や猿股等を用ふること、便秘をせぬ樣につねに新鮮な野菜、果物等を攝ることなどが肝心ですが、それには以上の注意の外に毎日入浴して局所を清潔に保ち、食物では刺戟樣のものたとへばワサビ、辛子等の香辛劑や酒等

─絶對に─ 避けねばなりません

もし不幸にして痔瘻を起したなら、まづ何をおいても醫師の手に委ねることが大切ですが、家庭での注意及び癒法としてはまづ第一に局所を清潔にして置くことです。痔瘻は絶へず膿や汁が膿出するものですから、膿をガーゼで拭ひオキシフルで濕しそれを拭きとつた後で朋酸ワセリンを塗布し、之れから消毒ガーゼを當てて伴創膏を貼布するのです、つぎは温器法をなすこと。痔瘻は温めるに限るもので、温熱を與へると局所の

─血行が─ 良くなるので抵抗力を增し痔瘻の惡化を防ぐ効果があるものです。第三は榮養を良くすること。この榮養が衰へる結果餘病を併發してから大事に至ることもありますから榮養には充分留意することです。さて玆で一寸申上げておきたいことは痔瘻と結核に就てです、一般世間の人は痔瘻と云へば直ちに結核を思ひ從つて痔瘻は不治のものたりと斷ずる人が多いのですが、實際は痔瘻と結核とは根本的には何等關係のないものなのです。ただ痔瘻患者は前にも申上げたやうに榮養の惡い人に多い。これが痔瘻となつて次第に健康を損ねて

─結核に─ も罹り易くなるのです、檢査の結果にみても痔瘻の原因は大部分は單なる化膿菌から來てゐるもので結核菌が因となつてゐるものは極めて少いのです。したがつて萬一痔瘻に罹られたとしても、つねに精神を明朗に健かに保つて肉體的療法と相俟つて痔瘻を精神的にも克服することが肝要です

今日の話題

△十四日は大體〆飾りを撤去する日とされております。

△次に取拂つた門松や〆飾りを燒く左義長（どんど）は東京などは殆んど跡を絶ちましたが地方では相當に盛んな行事として殘つてゐる所が多く、大低は十四日か十五日に行はれております。

△今日を誕生日とする人に狩野探幽があります（古畫備考）に慶長七年の正月十四日と出ておりますが探幽は四才のとき既に畫才を現はし、十一才で駿府に召されたのであります。

△岩倉具視が征韓論に反對して恨みを買ひ、赤坂の喰違で壯漢に襲はれたのは明治七年の一月十四日でした

△愛國婦人會創立の起り…奧村五百子女史が北清事變の職場慰問の旅から歸つて、近衞篤麿公を訪ね、銃後の後援について相談したのは、明治三十四年の同じ十四日のことであります。

(1) オヤツ！汽車ガ出チヤツタ!!!

(2) 仕方ガナイ、カウイフ時ハテクシーダ

(3) 驚イタ、マダ先ガコンナニアルノカナア

RUFFVILLE 21 MILES →

ツーツーク

コレデモ、ア汽車ノ物賣ヨリ運ガイイ、アノ男ハソモ賣レナカツタ

心臓病が音樂で治る

最近アメリカの生理學者ボドルスキー氏は音樂と生理作用の關係に就て新研究を發表したが、それに依ると音樂は心臓病と極めて密接な關係にあり音樂に依つて心臓病を或る程度まで治癒することが可能であるといふ

砂糖の一種が瘦身藥

ロスアンゼルスの南加州大學教授が發見せるダリアからとる砂糖は果糖の一種で甘蔗糖より三倍の甘みがあり體重を增すカロリーが少いので瘦せたい人や肥病の人にはもつて來いのものとある。甘いものを食つて瘦せられるのだから瘦せたい者に取つて一大福音

お料理獻立
ぼらの山椒みそ燒き

寒ぼらと申しまして、ぼらは寒い時に美味しいものでございます。お釣にお出掛けの方も今はぼらのお土産が多うございませう、そのお料理を申上げます。

【材料】（四人前）ぼら一尾百四、五十匁のもの、白味噌三十匁、山椒の粉茶匙一杯、醬油茶匙一杯、砂糖大匙一杯、調味料茶匙半杯

ぼらは三枚におろし、片身を二ツに切り、金串をさして皮の方から燒き身の方へは白味噌、その他の材料を摺り合せたものをぬりつけて燒きます

日中に二日月を觀る
「神に對する」彼らの純情
神秘的な幽境に誘ひ込まれる
蒙古人のお正月

蒙古人の正月は云ふ迄もなく舊暦で正月の準備は大體日本と同じく所謂師走の急がしさを過し一ヶ年の決算を濟ませて越年するものである。十二月二十日頃迄には家業を片付け（勿論商家其他正月準備を目當ての家では晦日迄商賣する）準備にとりかかる、次に蒙古人部落の正月行事を日を追ふて紹介することにしやう

◇……◇

十二月二十日を過ぎるとボツボツ部落民は街に出て神佛への供物や家の飾りや正月の晴氣等を購ひ、肉類や麵類野菜等各家出來る丈けの御馳走を調べる、一方一年只一回の家內大掃除を行ひ窓や壁紙を貼り替へ、庭には高さ十尺に餘る竿を立てその上に燈籠を乘せ竿には三角の旗や木製の五角四面箱の飾りをつけその箱より長い旗や風車や龍の頭の紙細工を結びつける、之は風の强さや風向を驗し正月の平穩を祈るの意から出たものである、又門壁或は家や部屋の出入口には神像や聖人像を印刷した極彩色の繪並に對聯と云つて一種の短冊に十二支中その年に因む文章や、各家各家業等に相應しい喜慶の對句を書いて貼りつける、これは一年中の家運をトふ風がはり祈願で民間では多く紅色の對聯（正月以外の慶事時も一時的に之を用ひるが正月のは特に春聯といふ）を寺廟では黄色の對聯を用ひてゐる

◇……◇

十二月二十三日の晩は右對聯の貼り替へ日即ち小年と云つて一年の決算を濟せ忘年の行事がある、蒙古包の家では包の眞中に設けた爐に滿人風の家では竈に火を入れ剝ぎ取つたその年の神佛繪や對聯窓壁の貼紙を燃し花火を打揚げて一年の感謝を捧げ忘年を行ふのである、又家人は家長に向つて一年間の安息に對するお禮を述べる、斯くして正月を迎へる準備が整ふと晦日には年別の行事として家の中に祭つてある祖先並に佛に供物を供へ線香を焚いて一家團欒の中に羊肉の丸燒きを食べるそれが濟むと家長の云ひけつで家族は年別の爲近鄕の家々に赴く、これであはたゞしい年の暮の行事一通りが濟みあとは安らかに新年を迎へるのである

◇……◇

元日には午前二時といふに早くも起床し各々身を淨め晴衣を着込み先づ家內の行事がはじまる、庭には机を持出して祭神を迎へ花火を打揚げて四方拜を行ふ、終ると家に入つて祖先の靈前に坐し家長より家族に對して哈達（正月の送物）を與へる、此處に於て家族一同は家長に對し新年の挨拶を交はし未明に朝食を攝るのである、朝食は主食に豚まんじゆうその他各家々出來る丈けの御馳走が出る、朝食を濟ますと夜明けを待つて家族は夫々手分けして近鄕に出で年賀の挨拶に廻り家長は居殘つて來客を迎へる、各家共茶菓、酒を出して饗應し「明けましておめでたう」「今年も相變らず」とやるのである

◇……◇

二日は日中に二日月を觀る習慣がある、この行事は蒙古人の天界に對する信仰から生れたもので蒙古人は月を神と敬ひ人類創造の親としてゐる、それで人間が死ぬと神なる月に召されて昇天し星となつて月に仕へるのであるといふ、二日月をみるといふ事は神なる月が何處にゐまそうともいつも神の在所を知つてゐなければならぬ、それには月を大切にしなければならぬといふのである、二日月といへば日中既に沖天にあつて然も僅かに片影を認めるに過ぎないのである、その發見しにくい神の姿を發見する事は蒙古人にとつて一つの誇りである、神に對する純情を表示する事になるのである又一說には神なる月を正視する事により身の清廉潔白を表示し所謂神の子たるの誇りを得るのである、二日の午さがり部落民が沖天を仰いで「あれよ／＼」と騷いでゐるのを見ると何か神秘的な幽境に誘ひ込まれる

◇……◇

三日四日は平常通りであるが仕事は殆どしない、五日は家內を閉して一日中家に籠り一切の業を休むのである、日本流に云へば寢て暮す日キリスト教流に云へば所謂安息日ででもあらうか家人皆謹愼の氣持をもつて出來るだけ密かに過すのを德としてゐる

◇……◇

六日には近鄕一般に對し年賀の交換に出歩く、この日は一部落の老幼男女が群をなしてドラを叩きラッパを吹いて廻る所もある、七日には堅く門を鎖して出でず從つて寨賀の往來は一切絕える六日の賑やかさに比べてひつそり閉としたる部落であるがこの配合にも何か意味深いものがあるかも知れない、八日には喇嘛僧がとある家に來て村中の人々を集め村人達の先祖である「星」に對して誦經祭禮をやつてくれる善勇善女の群は晴着に身を包んで淨財である賽錢を獻じ一ヶ年の福利と健康とを祈り先祖の扶けを乞ふのである、九日から常態に復するのであるが十五日には家々花火を打揚げ村人總出で提灯ふり／＼ドラを叩きラッパを吹いて近鄕に練り出し新佛である死人の家々を訪問その靈を慰める、又此の日は蓄へてゐる花火のありつたけを打揚げる花火の量によつてその家の富を表すとされてゐるパン／＼／＼といふ勇ましい爆音を體一ぱいに受けて向ふ一ヶ年の活動力を養ふのでもあらうか

◇……◇

正月は以上の行事を以て大體終るが此の十五日間親友知己相寄つて大いに酒を呑み談笑することは云ふ迄もない、又喇嘛は寺廟を開いて參詣を迎へ僧侶は村に出でて誦經を行ひ各家の祖先に對する追善供養を行つてやるのである

けふの番組
（M・T・C・Y 新京放送局）十四日（火曜）

朝

六、三〇 建國體操（滿語）
六、五一 ラヂオ體操（東京）
七、一〇 氣象通報（大連）
七、一五 中等滿語講座（大連） 講師 秩父固太郎
七、四〇 中等日語講座（奉天）
八、一〇 朝の音樂（大連） 講師 近藤喜助
八、三〇 經濟市況（東京）
九、〇〇 早晨演奏
九、二〇 料理獻立
九、四〇 經濟市況（大連）
一〇、〇〇 家庭講座 しみ拔き數種 赤塚久子
一〇、二五 家庭メモ
一〇、三五 經濟市況（大連）
一〇、四〇 經濟市況（東京）
一〇、五九 時報（東京）
一一、四〇 ニュース（東京、引續き新京）

晝

〇、〇一 經濟市況（大連、引續き新京）
〇、二〇 晝の演藝（レコード）
吹奏樂 獨逸コロムビア吹奏樂團
行進曲 星條旗永遠なれ
行進曲 ワシントンの陣營
トロット 一本調子で ビリー・コットン・バンド
〇、四〇 建國體操（滿語）
一、〇〇 白天演藝（奉天）
一、二〇 ニュース（滿語）
一、三〇 成人講座（哈爾濱より）
教育與治安 濱江省教育廳長 梁兎麟
一、五〇 下午演奏（大連）
二、〇〇 經濟市況（滿語）
引續き 日用品値段（東京）
二、五〇 經濟市況（東京）
三、〇〇 ニュース（東京）
三、二〇 相撲實況 春場所大相撲（五日目） 東京兩國國技館より中繼 備考 左の放送時間には中斷す
三、三〇 經濟市況（大連、引續き新京）
五、〇〇 子供の時間（奉天） ハーモニカ合奏 奉天中學ハーモニカ合奏團 奉天南滿中學堂ハーモニカ合奏團 指揮 永田彰男
一、ドナウ河の漣
二、バグダットの酋長
三、森の鍛冶屋
五、二〇 コドモの新聞（東京）
五、二五 氣象通報、番組豫告 關尾五十二

夜

六、〇〇 ニュース（東京）
六、二〇 今晩の番組、官廳公示
六、二五 政府公報（滿語）
六、三〇 講演（東京） 工學博士 石田四郎
七、〇〇 常磐津（東京） 子寶三番叟 淨瑠璃 常磐津若太夫 外 三味線 常磐津仲藏 外
七、二〇 義太夫（大阪） 淡路人形淨瑠璃 奥州秀衡有髮の花婿 淨瑠璃 豐竹島之助 三味線 豐澤町廣
七、五〇 立體漫談（東京） 一年の計 佐々木邦作 西村樂天 東日出子
八、三〇 時報ニュース（東京） 引續き ニュース
八、四五 ニュース、經濟市況（滿語） 氣象通報、番組豫告（滿語）
九、〇〇 演藝（奉天）
一〇、〇〇 北滿の時間（露語）（哈爾濱より）

常磐津 子寶三番叟
常磐津若太夫・外　常磐津仲藏・外　〔後七時 東京〕

…常磐津若太夫さん

おゝさへおさへ悦びありや／＼わが悅びを此ところよりほかへはやらじとおもふハア、、罷出でたる者は八幡太臣です、太郎冠者あるか「ハア御まへに「ねんなう早かつた「太郎冠者と召さるゝ故隨分物にまかり立て候「太郎冠者に尋ねたきことのあり身は福人と見へ候か又德人と見え候か「ドリヤドリヤハア、たのふだる方はあつぱれ福人と見受け候「ヤレめきしかな／＼エ身共こそ福者にてある其中にも子福者にて子供十二人持ち候上六人はるりのやうなる女子にて下六人は玉のやうなるおのこにて候其十二人の子供等を車座にぐるりつと直しをき一度に呼ぶやうに名をつけて候「げにげに目出度き御事かな其御名は何と御付け候で

「まづおつとりちかひおとよけさよたつ松ゐる松たんたらいなこにかいつくひつつくゆへうち袋ぶらぶらとつけてあれ「扨て珍らしき御名にて候「サレバ此十二人の子供等が四季の遊びの面白さ「それはめでたいおたのしみ其若子達の御遊びこゝにてまなび御見せ候へ「中々安き御事先づ太郎冠者には もとの座敷へおも／＼と直り候へ「某座敷へ直らうずる事頼ふだる方の御まなびよりやすふ候ひらに御學び候へ「ひらに直り候へ「あゝらやうかましやとう／＼「さほ姫霞のどか明けそめてけさしろじろと

…常磐津仲藏さん

富壯のかほうつる鏡のかげそへて松と竹とのこ柱「眠はふ春のをさなごと門やりはごすめる世に「風ふくは猶ふくなきんの團扇で追羽根せうとおしやるつくや手まりの數へうた一つとひてきさらぎの種まく小田の神まいりふりわけがみのいたいけに「緋むくはつばき白むくは福のつほみの風車くんるくる／＼廻る日の早鷄合せ雛遊びいもせかわらぬもろしらがいたゞく軒にあやめふく蛾兜のいさましくせうぶうち合ふなりふりのたけきはなほも潔く「ひまゆく駒の竹の尾にむちをくれなゐ手綱かいくりりん／＼／＼すゞみに磯の螢がり柳の水の影いそぐ……

樂天と日出子の立體漫談「一年の計」
原作は佐々木邦氏　〔後七・五〇 東京より〕

片岡君は又禁酒を思ひ立つた而し思ひ立つてから吉日を探す迄可なり手間がかかり、送別會の幹事を濟ましてからにすると妻君にいつてるうちにお濠へ落ち危く一命を捨てるところだつたので、いよいよ禁酒すると云ひ出すが、忘年會の幹事をすましてからと懇願の結果今年中はのんで初春早々禁酒を約した、一夜明けた彼は絕對禁酒の意志堅固に年賀に友人の家を訪問し、早速今日より禁酒の件を申出んとする暇もなく、お膳が出てお酒となる、心の中に七草が過ぎてから禁酒をしようと考へながら盃を手にすると急に春らしくなり、遂に溝に落ち荷車に乘つて歸宅する。

…西村樂天さん

文藝

新年文藝入選作

ある解放（上）

砂田榮

雪模様の重く垂れ下つた空を鴉の群が鳴き騒ぐ。

薄暮の町を、舜子親娘は馬車を驅らしてゐた。

煤んだ色の柳行李一つ、それが親娘の財産ではあつた。舜子はその上に搖られ乍ら、固い麻繩、交へた手に冷たい行李の觸感があつた。

荒い織りのマントがそそけて、ショールの無い母のおしのが、舜子の眼に瘦せの日立つ頸と共に佗しいものに映つた。

おしのは俯向いた儘、白く息を吐くと同時に呟いた。

「降るかねえ」

「大丈夫よ、きつと」

だがふたりとも無表情に、轍音に耳傾けるかのやうにそれなり沈默した。

凍りつくやうな寒氣が、足裏から泌み入るのを感じつゝ、舜子は重量を持つて一層のしかゝつてくる不安を嚙みしめてゐた。

（一體何處迄行くんだらう降つてきたら泊る家もないんだのに）

敎會があるのか、ミサの鐘が近々と聞えるとそこはF溫泉と筆太に書かれた家であつた。おしのが行李を持つて下りたので舜子も蹤いていつた。濕氣の香のする眞暗な台所に行李は置かれてものは電燈の洩れる部屋の方へ歩いて行つた。

「だれ」

内部から中年の女らしい雜音があつた。舜子には、乾燥した毫も親しめる聲とは思へなかつた。

「あの、婦人ホームから參りましたのですが」

多少おどおどしたおしのの答に續いて

「お入り」と云ふ聲がした

舜子はおしのが障子を開けながら、招くやうに手を動かしたのを見て靴を脫いだ。

廊下は塵埃のやうなザラッ〳〵と靴下に擦れるものがあつた。

敷居際に赤くなつた手をついてゐるおしの背後に立つてゐる譯にもいかず、舜子は廊下に据つて一揖した。

「坊や、先生に挨拶しないか」

さう云つたさい前の女は、小さく整つた顏立に、それとは調和を缺いだ大きな庇髮を結つてゐた。

女の左手に二本鼻を垂らした男の兒は、言はれて臆病氣な眼を上げると舜子に向つて頭を下げた。

（先生）舜子は呼びこそすれ先生などと呼ばれた事は曾つて無かつた。十七の未だ勉學中の舜子を先生と云ふ。舜子は尊敬を以つて呼ばれたのか、侮蔑から云はれたのか、恐怖に似た不可解な氣分であつた、解せない儘焦慮する極は不愉快であつた。舜子は快よからぬ眉を上げて部屋内を見廻すと、佛壇を背にした童顏と云はうか緒らみの多い顏に、贅肉をたぶたぶと波打たせ眼を細めてゐる六十近い男が先づ眼に入つた。

晩餐な圍んでゐたらしい一座の一人である、女に似てこちよこちよとした顏立の女の子は男の横に箸を持つたまゝ好奇的な眼を舜子に注いでゐた。

「ボーイを見てやつてくれりやいゝんですよ」女は簡單に言つた。

しのは「では」と後は何か曖昧に云ふと、紹介狀を女の手に渡した。

「クーニヤン、離屋の押入れに蒲團があろ」

舜子はこの女は松山の者であらうかと考へてゐると、誰もゐないとのみ思つた台所の一隅から「はい」と立上つたものがあつた。

「今夜はお寢みなさい」

さう云つたのは男であつた

再び一禮すると、二人はクーンヤンと言はれた者の後から行つた。高低のある一歩毎にガクガクと鳴動する廊下の行止りに、六疊があつた。

電燈がともされて見ると、クーニヤンと云ふのは十四程の支那娘であつた。左右ちぐはぐな眼瞳に意地惡い光を宿してちらと親娘をみるや、さつさと蒲團を引き摺り出した儘出て行つた。

手荒く障子の閉まる音ゝ共に、纒足の今來た廊下を小走りに去る響きを聞いた。

上下共薄い蒲團にしのと舜子は背を合してくるまると、天笠木綿の肌ざわりがあらかな冷たさを傳へた。

二人とも夕飯を食べて無かつた。

舜子は空腹と、婦人ホームとは又異つた雰圍氣が昂ずる感情のまゝに寢つかれなかつた。しのもまじまじとしてゐるらしかつた。

「お母さん」

「なに」

「これから二人でこゝにゐるの」

「そうよ」

「いつまで」

「わからない」

舜子は母と二人ならよいと思つた。

諸所に下女として或は附添婦として一日も休む暇なく働く母へ舜子は一時間と一緒だつた憶は無かつた。せい〴〵四十圓の勞働賃は舜子の學費にホームへの食費にと寧ろ不足であつた。さうしたおしのは勞働に次ぐ勞働と席の暖まることは不可能なことであつた。周圍に依つて相應の諦觀をもつことをも强ひられ來つた舜子には、ホームから學校に通ふことも辛いとは考へなかつたが、訓話ばかりする金椽眼鏡の室長や、濁つたオルガンをやたらに彈して甲高い聲で無理やり讃美歌を敎へ込もうとする、つんとした鼻を持つた女士官やは嫌惡してゐた。何かと穿索の眼を輝かす保姆たちも神經に觸るものであつた。――

これからどのやうな生活が始まるか解らないが兎に角も舜子は嬉しかつた。

くるりと向を替へておしの背にぴつたりしがみつくと舜子はぽたぽたと涙をこぼしてゐた。

翌朝早々とクーニヤンは障子を叩いた。

「おしのさん、おしのさん」

おしのはその前から身づくろひを濟ませてゐた。舜子も行李を解くと、今日の時間割から書物を整へて風呂敷包みにし、おしのについて部屋を出た。

深夜から降り出したものか雪が二、三寸積つてゐた。

昨夜の部屋に四人は未だ寐てゐた。

「奥さん、味噌汁は」

クーニヤンは支那人と思はれぬ程日本語が達者であつた

「いつもの通りでいゝよ、おしのさんに敎へつかはさい。それからボーイ水汲んで來いや」

寢たまゝ忙がはしくこれだけ云ふと再び搔卷を被つた。

「奥さん？」

おしのは小聲でクーニヤンに尋ねた。

クーニヤンはきんきんした聲音で

「奥さんとジヤングイ、それから坊やはあちやん」

クーニヤンの顏も眼も昨夜と變らなかつた。クーニヤンに寧ろ慳貪に敎へられ乍らコトコト葱を刻んでゐたおしのは握飯を一つ、そつと舜子に差出すと「今日はパンをお買ひそして これ食べたら行きなさい……ね」と囁いた。舜子は五錢を貰ふと湯氣を立てゝゐる握飯を頰ばつた。橫頰にクーニヤンの鋭どい視線を感じ乍ら。舜子はゆつくり食べた。

舜子の通ふ女學校へは、ホームからよりもこゝからは遠かつた。

舜子は雪の日は割に暖い、今日は未だ早いなどと斷片的な思ひをいだきながら、サクリサクリと一歩毎上靴の雪を拂ひはらひ歩いて行つた。

新短歌

ゆめの國

泉芳雄

○空虛な頭腦で大きな流れにゆられてゐるやうな、遠いゆめの國に雪もふつてゐる。

○あの雪をふむ音に、おぼえがある、訪れてくる樣な目つぶつてゐると、去つて行きさうな。

○戀しさも佗びしさも、だまつて、微笑んでみる、掌に溶ける雪の一片、ながめながら

○苦力の凍死體、もう上衣がはがれてゐるんです……おんなじ朝の陽が軒松のある路傍

滿洲國を續る 映畫問題の回顧と展望（二）

龜谷利一

然し乍ら滿鐵と雖もこうした滿洲國の國策映畫を製作する爲に撮影したものとて殆どなく滿鐵獨自の立場で必要なりと認めて蒐集した材料をかき集め、それに新興滿洲國の精神を吹込んで押出さうと言ふのだからかなり無理な話であり至難な事業であつた、勢ひ一回二回と假編輯をしては試寫して見たがどうも滿洲國側關係者の滿足するやうな壺に鉄まらず私と滿鐵の芥川監督とは人知れぬ苦心と懊惱を繰返したが同年五月十八日漸く滿文版の第一號が完成し大屯の娘々祭を期して封切した此の「新興滿洲國の全貌」は最初の計畫通り、英、獨、佛、伊、西班牙及びソ聯等各國語版を製作し日本の在外公館を經て歐米各國に送附し夫々機會ある毎に當該國の有識者達に觀覽せしめ相當程度の認識を與へたやに確聞する、既にして完成された「新興滿洲國の全貌」はその出來が良かつたにしろ惡かつたにしろ滿洲國政府の對內外の宣傳工作上映畫を使用する事が絕對心要でありこれを度外視することの出來ないものであることを確認せしめた、これより先き國務院總務廳情報處は大同二年三月他の政府機關より一年遲れて誕生した、そうして映畫製作の業務を建國周年記念中央委員會から繼承し内外の要望に應じて第二回作品の製作に着手した大興安嶺の彼方水草を逐つて悠々原始生活を營む蒙古人の生活を經とし此別天地にまで王道政治の惠みが洽ねいて居ること即ち新國家の實力を力强く表現することを緯として計畫されたのが「明け行く西部滿洲」であるが此の作品は技師の不慣その他で豫期した程の成績を擧げることは出來なかつた

此の「明け行く西部滿洲」の撮影製作は最初滿鐵に依賴したのであつたがどうしても都合がつかぬとのことで止むなく松竹に依賴し、當時相前後して來滿した城戸四郎、六車修兩氏と川崎宣化司長との間に話が進み關東軍の小林(隆)參謀が種々盡力された上松竹も新天地滿洲國への第一歩を踏み出したのであつた、爾後二年足らず滿洲國の映畫事業は製作に檢閲に或は巡映に急速な發展を遂げ對外的にはこれと言ふべき業績を殘しても居らぬがその對内的に殘した足跡は實に偉大なるものがある、就中顯著なものは民政部警務司の手によつてなされた檢閲制度の整備と軍政部及協和會の努力に依つて全國に張られた巡回映寫網の充實である、一方映畫を續る問題の續出に依つて刺戟された映畫事務相當者及一部有識者等の間に於ては大同二年の夏頃から早くも映畫對策樹立の必要が强調され關係者の間に於ては熱心に論議研究されて來たが遺憾ながら今日までのところ滿足なる解決を見るに至らない、映畫國策樹立に先立つて先づ考へなくてはならぬ問題が二つある、即ち

一、何故映畫國策樹立が必要か？

であるが此の問題に就ては夫々關係者の間に於て殆ど論議は盡されて居る樣に思ふしこれを開き直つて辯ずることになると大變だから玆では只單に私が最近感じさせられたことゞもを中心として此の問題についての材料を提供して見やう

虛弱體質改造の效果から見た

胃腸 榮養 若素（わかもと）

製法 專賣特許

向上しつゝある 日本國民の體質

最近日本人の死亡率をみるに、昭和八年は人口千に付一七・七であつて、この率は日本に於ける明治十一年以來の最低死亡率で特筆すべきものである。」次に乳兒死亡率は過去數年前までは出生千に對し常に一五〇以上であつて、世界文明國に於ける最高の乳兒死亡率を示してゐたが、昭和八年の乳兒死亡率は、出生千に付一二一であつて明治二十二年以來、約四十五年間に於ける最低乳兒死亡率である。」而も此間に於ける出生率は著しく減じてゐない——即ち出生に隨伴して來る乳兒死亡の低下ではなく、全く國民の努力、即ち母性乳兒保健の向上より來るものと見られる。

然し、之を以て喜びすぎるのは考へもので、殊に注意すべきは現在の乳兒死亡率の低減に引替へ、少年、青年の死亡率が之に伴つて低下しないといふ事實、並に結核死亡が多いといふこと、進んで壯丁の徵兵檢査に於て未だ甲乙種合格率の向上の遲々たる地方ある點で、少青年期の體力増進に尚一層力を注ぐべき事を暗示してをり、若素（わかもと）の如き各臟器細胞の機能の賦活によつて全身的强化、改造を圖る藥物が大いに利用されねばならぬことが痛感される。」

虛弱體質の强化 殊に學童の智腦増進

獨逸ベルリン大學病理學敎室のビツケル氏が述べた如く若素（わかもと）主菌ヘーフエの治療的應用は消化管內の機能の促進、體液狀態の變化、各臟器細胞の機能の覺醒による全身新陳代謝の綜合的向上を圖るにあるのであつて、この點は在來の治療劑にはみられなかつた特質といはれてをり、一般虛弱體質の强化に本劑が最も適はしい藥物として大に服用されつゝある所以である。」尙東京市富士見小學校々醫青木醫學博士は兒童衞生誌上に於て若素（わかもと）は、身體の發育を促進するに適してゐるはもとより、腺病質兒童の體質の改造に、精神發育の遲れてゐる成績不良兒童の頭腦更生の爲に貢獻することが大であることは先進學者の實驗によつて明かであると述べてをられる。

慢性胃腸疾患と 常習便秘に

多種の腸胃病者に若素（わかもと）を服用させた細野博士の臨床實驗報告を抄錄するに胃アトニー、胃弱患者に及ぼす效力は、在來の數種の對症藥の配合も及ばないことを觀察した。」即ち、之等の患者に若素（わかもと）を服用せしめしに、食後の胃部重壓感を緩解して、食慾の漸進を示した又胃潰瘍と胃下垂に連續投與せしに前者は潰瘍面の癒着を來し、後者は下垂、弛緩せる胃筋肉を緊張し、遂に之等の難症をも治癒に導くは、若素（わかもと）の優れたる酵素作用により、新細胞が簇生し、細胞機能が更生する結果と思惟される。腸管內の細菌と酵素機能の衰退によつて異常醱酵を起して下痢し、遂に榮養が次第に衰へてくるのは慢性腸虛弱者にしばしば見受ける處である。

斯かる患者に若素（わかもと）を服用せしめしに、腸內殺菌の繁殖は抑止されて異常醱酵が止り榮養を增進すると同時に腸カタールによる頻回なる下痢も遂に正便に復した。

また便秘に對しては、最も自然なる排便を起さしめ習慣性とならず連用して何等の副作用がない。

消耗結核患者の 食慾不振と發熱に

結核患者の食慾不振と發熱は結核菌の毒素と生產物の中毒並に刺戟現象に原因するものであるから、結核患者に單なる食慾催進劑及び下熱劑を與へても滿足な効果は得られない。」

然るに若素（わかもと）は體內に結核菌の被膜を溶解する物質の生成を促して結核菌の勢力を挫き治癒を助けるから、結核に原因する食慾不振並に發熱は共に解消するに至る。而して食慾の恢復と發熱の解消は結核を治癒に導く二大要因として醫家の均しく重視する處である。

結核患者に若素（わかもと）を處方せる西醫學博士は『輕熱もしくは中熱ある結核患者で、食慾殆ど缺乏せる者でも若素（わかもと）を處方すること數日で多くは食慾の著しき亢進をみるに至つた。停止性の患者で殆ど無熱、食慾不振と多少の無力感を訴ふるに過ぎない者にあつてはこの効果の發現は一層迅速である』と述べてゐられる。

適應症

- 慢性衰弱症　肺炎・肺結核・腸結核・肋膜炎・カリエス・貧血・脚氣・神經衰弱
- 胃腸諸症　胃腸カタル・胃酸過多症・胃アトニー・胃擴張・胃潰瘍・食慾不振・便秘・下痢
- 虛弱乳幼兒　消化不良・綠便・粘便・虛弱人工榮養兒・腸カタル
- 姙產婦衰弱　惡阻・產前產後の衰弱・乳汁分泌不足・胎兒の發育
- 疲勞老衰　中年期衰弱・早老・スポーツ・勞働・精神作業のエネルギー補給

藥價低廉

粉末三十日量
錠劑三百錠入　壹圓六十錢

三百錠は大人には廿五日量・十錠前後の兒童には約四十日量・五錠前後には十五日量・三錠前後には六十日量に當る

發賣元・東京市芝公園大門際

株式會社 榮養と育兒の會

振替東京一七〇〇番

完膚なく暴露した戀愛結婚の末路

夫妻の訊問で同棲十七年明るみへ 萩原氏夫妻第四回公判 續き

萩原準夫妻の離婚訴訟第四回公判は午後一時四十分から午前に引續いて再開、原告萩原準氏の訊問に入るに當り、裁判長は型の如く原告の身元調べから離婚請求の本問題の訊問に入り、先づ原告(萩原氏)萩原夫妻の結婚當時の事情を訊ね

裁 同棲してからむつまじく暮してゐたか

原 半歳ほどして夫婦喧嘩をなしその時妻の荷物をまとめて家から追ひ出しましたその時は夜中に歸つて窓硝子を物干竿で破壞しましたその後度々喧嘩となり妻から遺言を書けと云ひますから二、三度書きました、自分は世間態もあることだからと思つて我慢して居りました、その當時は發作的に起るものと思つてゐました

裁 遺言は何んと書けと云ふのか

原 財産を自分(妻)にくれと云ふことです私は女のことだからと思つて氣にもしていませんでした

◇——◇

裁 結婚してから一度も姙娠しなかつたか

原 しませんでした

裁 姪龍子を養女にする話が出た理由は

原 被告か重病に罹つた時のことでした、其時郷里親元へ危篤電報を發したが、その後數日にして全快した、その時妻は私の看護に感謝すると共に養女を貰つた方がよいと言ひますので東京の學校にゐる姪龍子を貰ふことにしました、妻もよく龍子を知つてゐましたので何よりと思ひ進めたのです

その時妻が私が内地に行けば必ず話はまとまるからと言つて、四月二日内地に行きました、交渉の結果五月三十日歸りました、歸京後數日にして妻は突然私に財産を分けてくれと言ひ出したので其理由が判らずそのまゝにしておきました、今度は被告が龍子に養子を貰へと言ひ、その候補者は四平街の青山でした

裁 青山を貰ふ話に對しどうして反對したか

原 青山は色盲であるため斷つた又青山の家庭が面白くないからでした、すると妻は私に對して亂暴を始め、龍子を歸せと荒々しく私に喰つてかゝり衣類を破るなど全く狂人の如くでした、そうして自分(妻)は死ぬと稱してカルモチン二錠を飲んだからと話すので私も驚き興安病院の醫師を迎へたところ醫師に對し何んで來たかと又喰つてかゝるのでしたが、その實は服用してゐなかつた樣でした、それが丁度七月十八日のことでした、翌十九日になると自分(妻)は出て行くのだ一萬圓をよこせとか、パスをよこせと言ふから仕方なく金五百圓をやつたところ翌二十日私に對し青山の方を斷つてくれと言ふから私は妻と二人で四平街に行き青山と會見斷りました、それから私は新京に歸つた、妻は歸らず四平街に二泊の後、湯崗子から大連に行きましたところ、八月五日突然電報で歸京するとの通知があつたが、一旦出て行つたものだから放つてゐましたところ龍子は叔父さんが迎へに行かなければ私が一人で行くと言ふのでそれもとめてゐますと同夜歸宅していつもと同樣に亂暴をするので翌日龍子を地方事務所長のところにあづけました、その時龍子が所長のところで叔母さんを出して自分(龍子)と叔父さんと一緒に居つたら世間はどう言ひますかと言つたらしいのです、それも妻の狂暴で龍子が恐怖したものであります、兎角龍子を歸國さした方がよいからと思ひ私は連れて行き九月十五日實兄と歸宅した、妻は不在でしたが三十分ほどして歸つて來るや直に私に喰つてかゝりましたが私は女のことだからと思ひ妻のするまゝにしておきました、翌十六日内地に兄を迎へに行くから金をくれと言ひますから五百五十圓を渡したところがその金で大連に行き浪速ホテルに投宿し、十月三日歸宅したから私から兄はどうしたと尋ねると電報を打つたから來るでせうと言ひ二階に行きました、同月七日妻は入院しました

◇……◇

裁 妻に私生兒のあることは全然知らなかつたか

原 知りません、私が知つてゐれば養女を貰ふこともなかつたのです

裁 一萬圓やるから出て行けと言つたか

原 私は言ひませんそれは妻が話かけたのであります

裁 所長のところに行き手切れ金をやることを話したがその時一萬圓をやることは話さなかつたか

原 離婚に對する相談をしました

裁 現在は妻に對してどう思つてゐるか

原 現在では社會的に精神的に、ともに苦しめられたから一萬圓をやる考へもない併し永年連れ添ふてゐたのであから二、三年間の生活費を出してやる考です、離婚したからとて迷路頭にふ樣なことはしません

裁 原告の考へてゐる金で被告がよいと言へば解決するか

原 解決します

終つて檢事の補充訊問に入る

檢 趣味嗜好に異つたところがあつたか

原 自分は世の中を眞面目に暮すそれには與へられてゐる仕事をする、之に對し妻は世の中を面白く遊んで暮す考へで全く反對でした

檢 性的に缺陷はなかつたか

原 ありませんでした

裁 原被二人は何年前から別れて寢てゐるか

原 遼陽に居つた時からです

"壹萬圓はどうしても貰はねば困る"

對質訊問申請て傍聽禁止さる

かくて小憩の後、被告りん女の訊問に入り、準氏同樣結婚の動機を訊問、私生兒の云々を訊ねれば、りん女は原告の「知らなかつた」の言に對し反駁する

裁 龍子がくるまでは夫婦喧嘩はしなかつたか

被 しません

裁 大正八年十一月ごろ二人で喧嘩をしたと原告が話したがどうか

被 それは本當の喧嘩ではありません萩原が酒を多く吞んで來ており乍ら酒を出せと言ひますから一寸待つて下さいと言ひますと私を突倒しましたから公園でも散歩してくれば萩原がおさまるからと思つて出たところ錠をかけたので仕方なく竿で窓を叩いたのです

裁 龍子を貰ふた理由は

被 萩原が毎日淋しい淋しいと言ふのですから龍子を貰つて來ればよいでないかと話すと萩原は非常に喜びましたので私が連れに行つたのです

裁 龍子を貰ふ話をしたのは原告か被告が

被 二人一緒でした

裁 龍子を知つてゐたか

被 尋常六年の時から知つてゐます

裁 龍子が來てから家庭が變つたがその理由は

被 龍子が來ましてから主人は嬉しくて新聞も讀めないと話しながら龍子の手を愛撫したりしてゐました、又は六月十二日宴會があつて歸るや直に龍子はと言ひますから寢んでゐると話すと起せと云ふから明日でよいですよと申しました

◇……◇

裁 龍子と青山との緣談は二人の内どちらが先に話したか

被 萩原でした私が龍子に話しました、すると龍子は私青山さんと一緒になるなら嬉しいですと言つてました

裁 青山は時々來てゐたか

被 話が出來てから毎週日曜日には必ず來てゐました、すると主人は二三回來た後から青山の顏を見ると憤として

裁 二人で四平街に行き緣談を斷つたか

被 斷りました

裁 何故斷つたか

被 私は知りません

裁 七月十三日夫婦喧嘩をしたか

被 しました

裁 その時カルモチンを服用したか

被 一錠吞みました

裁 一錠も吞めば死ぬのではないか

被 危險です

裁 どうして危險なことをしたか

被 私は死ぬ覺悟でした

裁 七月十一日大連に行つたか

被 別れ話が出て一萬圓やると言ふから大連には十年間も行つてないため行くことにし途中で湯崗子に一週間ほど滯在し靜養しました

裁 大連から歸つて來てからどうであつた

被 主人は一萬圓はやらないからと言つて龍子を連れ六疊の間に寢ました

裁 原告の實兄は何のため來たか

被 私は知りません

◇……◇

裁 被告が大連から歸つて原告は毆打したか

被 三日の夜でした私を二階に引ずり上げて私のお尻を幾百回となく毆打しこれでも死なゝいか死なねば鴨居に紐を吊つてやるから首を吊れと言ひながら續いて足で蹴りましたその時主人の兄は薄ら笑ひをして居つたし又女中はもうよしたらよいですよと言つてゐました

裁 その時原告は被告に對し十五年間主人を僞つてゐた私主兒があるではないかと言つたか

被 申しました、その時私は前にも言つてゐるし今更何を申すのですかと突放しました

裁 被告の病氣(脊椎炎)はいつからか

被 三年ほど前からでした

裁 原告が内地に行つた留守中ダンスホールへ毎夜の如く行つてゐたか

被 三回小林樣の奧樣と行きました

裁 戀愛結婚で十年間も一緒に居つたのが今となつて離れる樣になつたのは

被 龍子の關係です

◇……◇

裁 今後原告と暮す考へがあるか

被 私は一緒にゐましても萩原が訴訟を起した位だからどうしても別れることになるでしよう、別れるに就てはどうしても生活の保證をして貰ひたいのです

裁 何の位金は要るか

被 一萬圓は必要です、二、三千圓位でしたら私は一層のこと殺して呉れた方がよい

終つて檢事の補充訊問に入つた後檢、事は原被兩告の性的關係につき對質訊問の必要ありとて裁判長に申請した、裁判長は對質訊問を宣すとゝもに一般傍聽を禁止した、時に午後五時三十分である

◇……舊正月近づく きのふ新京郊外に於ける滿人の凧あげ

殖えるお醫者 四十五軒へ増加

齒科醫も一躍三十一軒に 素晴しい繁昌振り

滿鐵新京醫院庶務科の調査によると、現在市内の開業醫は四十五軒うち休業二軒で、事變前の僅かに七軒に較べて實に三十八軒の增加である、これを年次別にすると昭和六年一軒、七年七軒、八年十一軒九年六軒、十年十四軒といふ勘定で、內科、外科、小兒科など一番多いが、專門醫として最も少いのは眼科、耳鼻科で眼科では知識醫院、耳鼻咽喉科では三井、鍋谷兩醫院位のものである、一方齒科醫も同樣に事變前にはタッタ三軒しかなかつたのが三十一軒に激增した、人口の增加に比例してお醫者の數が又より以上でしかも滿鐵醫院はもちろん各醫院とも相當繁昌してゐるもやうであるのは一體何を物語るのであらう

新京商工會議所 けふ初の定例總會

新京商工會議所は本年頭初の定例總會を十四日午後三時より會議所會議室に於いて開催するが協議事項は左記の議案に關して行ふ

一、附屬地外會員の賦課金に關する件

一、一月廿一日奉天に於て開催の臨時全滿商議聯合會に關する件

其の他である

ボイル湖附近で

外蒙赤兵又もや不法越境 奇ッ怪地雷火を敷設

【ハルビン國通】當地某機關に達した情報に依れば八日午前十一時三十分ボイル湖西側ホランホトック部落に滿洲國軍警備兵が步哨兵配置に赴きたるところ不法越境し來れる十四、五名の外蒙赤兵を發見尚後方に二、三十名の外蒙兵あり直ちにこれを擊退したが附近搜査の結果、外蒙兵が地雷火を敷設せるをも發見した

合流匪擊退

小柴通河派遣隊

【ハルビン國通】小柴○隊の通河派遣隊は十日午前九時十分永發屯(通河東北方二十キロ)附近にて海龍、擁中國の合流匪を襲擊、交戰一時間半にしてこれを潰走せしめた、敵の損害多大、尙本戰鬪にて我一等兵某君は胸部盲貫銃創を受け壯烈な戰死を遂げた

集金横領犯逮捕

佐賀縣佐賀市生れ老松町八岩本商會外交員前科二犯木下武(三七)は同店の賣掛金五百圓を集金横領し行方をくらましてゐたところ十二日午後三時ごろ康德會館内電業公司に現はれづうづうしくも同店の名を騙り集金せんとしてゐるを新京署財前刑事が發見逮捕した

延岡火藥庫爆發 死傷者多數

【延岡國通】昨日二時半延岡市外日本窒素肥料會式株社工場火藥庫が大音響と共に爆發し延岡市內は大地震の如き鳴動したが死傷者多數の見込みである

通化縣下で 王鳳閣匪擊滅

王第二營長外九名死傷

【奉天國通】王鳳閣匪團が通化縣第三區高地に山寨構築蟠居中との報告に接した混成第二連はこれを包圍擊滅すべく十日午前五時を期し第二營長王尙知少校の率ゆる第三連、第五連は側面より一齊に攻擊を開始し三時間の後擊退したが此の戰鬪に於て滿洲國軍側に戰死兵一、負傷第二營長王尙知少校、排長一、兵七を出した

鳳城縣下で

趙慶吉匪掃蕩

【安東國通】十二日午前九時頃鳳城縣第三區鵜鶘加北方高地に於て安東○○隊川田○隊は匪首趙慶吉の率ゆる百餘名の匪賊と遭遇三時間餘に亙つて交戰の結果六名を射殺小銃一○、彈藥其他多數を鹵獲したがこの戰鬪に於て檜垣步兵伍長は左頭骨に擦過傷、安川上等兵は左足貫通銃創、小幡上等兵は顎下盲貫銃創、小宮一等兵は右腕品通銃創(以上何れも千葉縣出身)を負つた尙負傷者は直ちに安東衛戍病院に收容された

氷上選手權大會 派遣選手決定

十三日詮衡役員會で

【奉天國通】國際リンクに於る氷上選手權大會終了後直に役員會を開催來る二十四、五兩日日光、東京兩地で行はれる日本氷上選手權大會に派遣すべき代表選手の詮衡協議を遂げた結果左の如く決定した尙右代表選手一行は來る十九日奉天驛發一路遠征の途に上る豫定である、代表選手氏名左の如し

△スピード(男子六名)安達和男(奉天)木谷清(安東)朴潤哲(撫順)松元茂(撫順)橋本恒(奉天)三代正勝(撫順)(女子四名)今村トシ子(奉天)江島八重子(奉天)村山菊子(奉天)村山節子(奉天)

▲ホッケー 大連滿鐵チーム 全撫順チーム

東京春場所

四日目勝負

【東京國通】春場所大相撲四日目の勝負左の通り、打出六時二十分

勝		負
星甲	押出し	常陸山
綾若	外掛け	大刀若
天城山	寄倒し	照錦
大浪	突倒し	五つ島
中入後		
九州山	切返し	射水川
桂川	押出し	三熊山
大八洲	上手投げ	綾錦
錦華山	押倒し	金湊
玉の海	引落し	楯甲
筑波嶺	寄倒し	防長山
土州山	はたき込み	伊達の花
和歌島	内かけ	富の山
松前山	下手櫓	綾川
大邱山	寄倒し	幡瀬川
駒の里	寄出し	磐石
瓊の浦	上手投げ	海光山
綾昇	切返し	巴潟
高登	肩すかし	出羽の花
新海	外掛け	大潮
双葉山	うつちやり	鏡岩
男女川	突倒し	出羽湊
笠置山	寄倒し	清水川
玉錦	寄出し	旭川

【東京國通】東京相撲春場所

五日目取組

五日目の取組は左の如し

嶺幟	大浪
大刀若	青葉山
星甲	五つ島
天城山	加古川
中入後	
射水川	伊達の花
綾錦	防長山
九州山	三熊山
錦華山	大八洲
玉の海	駒の里
金湊	富の山
楯甲	大邱山
和歌島	筑波嶺
綾川	幡瀬川
松前山	土州山
出羽湊	桂川
海光山	巴潟
笠置山	番神山
磐石	旭川
新海	鏡岩
大潮	瓊の浦
出羽の花	清水川
男女川	双葉山
高登	武藏山
玉錦	綾昇

寄附

新京特別市公署では目下貧民救濟同情資金を募集しゐるが右同情資金として十三日新京益通商業銀行員王名は金五圓也を、また王麟保醫院長は高粱米二斗を夫々市公署へ寄附するところあつた

西公園ではさきに熱帶の珍魚エンジエル、フイツシエを始めその他の熱帶魚を蒐め飼育中だが、このうちエンジユルは不幸斃死したほか、他はいづれも立派に成長し、お正月も無事異郷ですました、中でもオレンヂリートテール、グローキングラメといふ變り種に至つては最近頻りに産卵しては吾等の天下とばかり溫水內で悠々浮游してゐるので、吉田主任以下係員たち我子のやうに大喜び

◇……きのふ高女の書初め展覽會

田口省吾師 本朝公主嶺へ

黑の法衣一枚、素足に草鞋、頭陀袋を首にかけた田口省吾師が十三日の夕刻漂然本社を訪れ、本朝公主嶺に向け出發するので暇乞の挨拶に來たとのことであつた、十日入京、十一日は國務院で張總理に會見、日滿蒙精神聯盟を强調し爾來滯京、軍隊、警察で精神作興講演を試みつゝあつたが十三日から全滿の戶外デーに入るを機に公主嶺に向ふとの事であると

總務部資料課長 更任の挨拶

滿鐵總務部資料課前課長宮本通治、新課長松本豐三の兩氏は同情報係主任の案內で十三日更任挨拶に來社因に同夜六時からダイヤ街扇芳亭で披露宴を催した

線路科講習

新京保線區では十三日から新社員四十名に對して線路科講習を開始、時任區長が教育主務者となり三月末まで連續開講する

講談 出世の大盃(上)

猫遊軒貞九郎

德川家御繁昌の頃は「虎の門」にお屋敷のムいました内藤紀伊頭と仰しやる御大名がムいました。此の御方の御先祖は家康公の御舍第で内藤左衛門信成と申しました。此の紀伊様に若様御誕生の御祝の御酒宴がムいました、御客様は奥方の御兄上、藤黨大覺高久公を始め内藤の一家は勿論酒井、榊原、伊井、本多等お歴々の方々が我も我もと御出になりました、實に御盛會で夕方に漸くお開きに相成何れも御歸邸でムいました、然るに高久公は大の御酒家でムいますから後に御殘りになりまして頻りに召上つて御出でムいましたが餘程御酩酊と相見えまして

高久「今日は心嬉しく十分頂戴致した何うか冷水を」

と仰せられますので、お側に控へて居りました三平と申す御家來が、

三平「ハッ」

と云つて行かうとすると

紀伊「コリヤ三平」

と御呼止になりましたから御主人の側へ參りますと、小聲で

紀伊「高久公は御大酒である未だ／＼御召上れるに因て冷酒を差上ろ」

三平「御意でムいますが御承知の通り高久公は御氣象の荒いお方でムいますから矢張り冷水を差上げました方が相宜しいかと存じます」

紀伊「イヤ／＼苦しうない因つて冷酒を差上げろ」

との仰せ據なく銀の水呑に冷酒を入れて差上ますと

高久「アヽ酩酊を致した」

と仰しやりながら。グイと一口召上ると冷酒でムいます。左なきだに御酒の上の悪い高久公の事ですから憤然と遊ばしまして

高久「某冷水と申せしに冷酒を下さるとは辱ない其の儀ならば夜を徹して頂戴致さう」然し獨りで飲むも面白く無いに因て・誰なりと相手を致せ」

と御意でムいます、奥方始め紀伊様も飛んだ事をしたと思召しましたが今更致し方がムいません、さうなると高久公と太刀打を致します様な大酒飲が無いので大いに弱つて御出になると、此處に近頃御抱えになりました三郎兵衛と申す足輕がムいます、見た處は中々立派な人物で眉間に月形の疵がムいます、此の者至つて酒好で錢さへあれば門前の酒屋へ參りまして、桝の隅からグビリ／＼飲んでは一寸鹽から味噌を嘗めてアア甘かつたと云ひながら飲んだ顔を致さず歸つて參ります、此位酒が好きでムいますが、不思議な事には三郎兵衛の醉つたのを見た者がムいません、三平此事を思ひ出して、御主君に申上げますと

紀伊「早速召連へ」

との御意でムいますから、三平が三郎兵衛に此事を申入れますとイヤ三郎兵衛は大悦び

三平「然し高久公は大の御酒家で入らせらるゝにより、甚だ心元ないが定めて其方大丈夫であらうな」三「其儀は御心配御無用に願ひます、外の御用なら勤まりませんが酒と來たら浴びます」

世の中には随分厄介な奴が有るもので、是なら負ける様な事は無からうと思ひ御自分の衣服を貸與へて着せますると立派やかなる人物になりましたから、早速高久公の御前へ召連れました、

高久「三郎兵衛と申すは其方か近う進め…」

三「ハッ某でムいます」

高久「コリヤ／＼其方の様に一々禮を致して居つては窮屈で酒が甘くない、無禮は免すに因つて近ふ進め…」

三「實に殿様の仰しやる通りでムいます、ネエ殿様、窮屈な所では何時飲みましても甘くムいませんな」

三平「コレ／＼三郎兵衛、失禮な事を申してはならぬぞ」

高久「コリヤ三平、苦しうない捨置け／＼三郎兵衛是で一杯飲め」

と銀の七合入の大盃を御出しになりました

三「殿様酒は大杯に限ります」

とナミ／＼注ぎましたのを息をもつかずグット飲干しました」

三「アヽ甘い殿様の前でムいますが錢の出ない酒は尚甘うムいます」

三平「コレ／＼三郎兵衛、何で左様な失禮な事を申す」

高久「コリヤ三平一々咎め立を致すな、予が免すに因て捨置く／＼」

三「ソレ見ろ、殿様は仲々苦勞人で入らつしやる、三平捨置く／＼」

三平「コレ／＼如何致したものだ」

と高久公が氣の荒い方ですから、頻に三平が心配致してをります」

高久「コリヤ面白い奴ぢや、三郎兵衛に酌をして取らせい」

お側に居りまする家來が頻りに酌を致しますと、グウーイ／＼と傾けます有様長鯨の百川を吸ふが如くでございます

高久「三郎兵衛、盛んぢやな是で一盃飲め」

と仰しやつて又々一桝入の大盃を御差出に相成りました

三「有難く頂戴仕る、然し殿様、是で一盃は少々心細う存じます、翼くは二三十盃やれと仰せを戴き度う存じます」

と云ふ三郎兵衛の顔を高久公が漸く凝視て入つしやいましたが」

高久「コレ三郎兵衛其方の眉間の疵は立派なものぢやな、定めて是には面白き物語が有るであらうのう、酒の肴に語つて聞せえ、どうぢや」

三「恐れ入りました、御尋に預り面目次第もございません、實は幼少の砌過つて溝に落ち其節小石にて打ちたる疵でございます」

高久「默れ、創疵か太刀疵か但し打疵かゞ判らぬ某と思ふか白痴め、高久刀に掛けても聞かんければならぬ」

とジリ／＼と御進みになりました、側に見て居りまする三平、氣が氣でございません、とう／＼三郎兵衛捕つた、何うなる事がと三平手に汗を握つて居ります、すると三郎兵衛ば只今迄の様子とは打つて變り、高久公の方に膝立直し是赤坳しくじり／＼と進みました。

廣告

范家屯區公示第一七號

昭和十一年四月（昭和四年四月二日昭和五年四月一日間ニ出生シタル者）學齡ニ達シ范家屯尋常小學校第一學年ニ入學スベキ兒童ハ昭和十一年一月二十日迄ニ戸籍謄本又ハ戸籍抄本及種痘證明書添付當所范家屯派出所ニ屆出ヲルベシ

追テ入學屆用紙ハ當所范家屯派出所ニテ交付ス

昭和十年十二月九日

南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長
武田胤雄

新京區公示第二九號

昭和十一年四月（昭和四年四月二日・昭和五年四月一日間ニ出生シタル者）學齡ニ達シ新京各小學校尋常科第一學年ニ入學スベキ兒童ハ昭和十一年一月二十日迄ニ戸籍謄本又ハ戸籍抄本及種痘證明書ヲ添付當所ニ屆出ラルベシ

追テ入學屆用紙ハ當所地方係ニ於テ交付ス

昭和十年十二月九日

南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長
武田胤雄

新京區公示第三〇號

昭和十一年四月（昭和五年四月二日・昭和六年五月一日間ニ出生シタル者）新京幼稚園ニ入園希望者ハ昭和十一年二月十日迄ニ戸籍謄本又ハ戸籍抄本添付當所ニ屆出ラルベシ

追テ入園屆用紙ハ當所地方係ニ於テ交付ス

昭和十年十二月九日

南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長
武田胤雄

登錄商標